

各教科WGにおける議論の補足イメージ 及び教科の目標、見方・考え方、 資質・能力の全体構造（素案）

- ※各ワーキンググループにおいて検討中のたたき台であり、今後変更の可能性がありうる
- ※以下、「知識及び技能に関する統合的な理解」を「統合的な理解」、「思考力、判断力、表現力等の総合的な発揮」を「総合的な発揮」と記載する
- ※以下、「知識及び技能に関する統合的な理解」を「統合的な理解」、「思考力、判断力、表現力等の総合的な発揮」を「総合的な発揮」と記載する
- ※内容項目例は基本的に現行学習指導要領をもとに記載したものであり、次期学習指導要領における内容項目を確定したものではない



**国語WGにおける議論の補足イメージ
及び教科の目標、見方・考え方、
資質・能力の全体構造（素案）**

高次の資質能力を含む全体の構成イメージ(中)

【論点1-1】高次の資質・能力の示し方

高次の資質・能力を、言葉を使う目的(仮称)や事項のまとめり(仮称)、資質・能力の関係性を整理して示すこと、思考・判断・表現、知識・技能における高次の資質・能力の示し方について、ご議論いただきたい

目標等

(柱書)	(資質・能力の趣旨)について、(学習過程)を通して、次のとおり育成することを目指す		
(資質・能力の柱ごとの目標)	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力・人間性等
(見方・考え方)	(対象)を(教科固有の物事を捉える視点)の視点から捉え、(教科固有の考え方や判断の仕方)すること。		

全領域共通の内容

内容 A話すこと・聞くこと

思・判・表	高次の資質・能力	言葉を使う目的(仮称)	資質・能力(概略)
	〇〇できる	〇〇〇〇	
		〇〇〇〇	
		⋮	⋮
①知・技	高次の資質・能力	事項のまとめり(仮称)	資質・能力(概略)
	〇〇できる	〇〇〇〇	
			⋮

領域ごとに示す

原則、領域ごとに共通の内容で示す

全領域共通の内容

主に、各領域の学習で必要となる知識及び技能を活用して、思考・判断・表現する

主に、基盤となる文化的な知識や態度、教養として深める

内容 B書くこと

思・判・表	〇〇できる	〇〇〇〇	
①知・技	〇〇できる	〇〇〇〇	

内容 C読むこと

思・判・表	〇〇できる	〇〇〇〇	
①知・技	〇〇できる	〇〇〇〇	
②知・技	〇〇できる	〇〇〇〇	

教育課程全体で育む「言語能力」が働くイメージ

AIによる大量の言語生成が可能となり、それをSNS等で容易に発信可能な時代だからこそ、
自らの意思や考えの形成・表現や、他者の経験・感情の理解といった人間ならではの言語能力を重視

受信

内容を正確に理解するとともに、発信者の経験・感情・意図を掴みながら、自己の考えを豊かに形成

構造と内容の理解・解釈

➤ 言語情報の正確な把握
理解のための方略を工夫しながら、
受け取った言語情報の構造や内容を正確に把握

- 各教科等の特質に応じた指導例：
- 教科書や資料のどこを読めば必要な情報を得られるのかなど各教科固有の文章の読み方を理解させる
 - 重要な語句に線を引いたりメモしたり、理解できないときに前に戻って読み直したり質問したり、要点を図式化するなど理解を助ける方略を適用できるようにする

➤ 自分なりの意味の理解・解釈
正確な把握と同時に、既有的知識と結びつけたり多様な視点から検討したりしながら、
自己にとっての深い意味理解・解釈の形成

- 各教科等の特質に応じた指導例：
- 黒板をただ写し取るのではなく自分の知っていることや考えたこと他の人の考えなども関連付けて書き加えるなどしてまとめられるようにする
 - 学習の要点として理解したことに加えて、一般化して言えそうなこと、具体的な事例、より詳しく知りたいことなどを説明させる

考えの形成

➤ 発信者の経験・感情等を踏まえた考えの形成
発信者の経験・感情・思考・意図を推察したり、それらを踏まえ自らの意思をもち考えを形成するなど、
自他の経験や感情、意思と結びつける

- 各教科等の特質に応じた指導例：
- 他者の発言等の要点を理解した上で、発言の背景となる考えや経験、感情について推察できるようにする
 - 理解・解釈した内容について、自分はどう思うか、どうしたいかを理由とともに明確にし、相互に交流することを通して自分の考えを補強したり見直したりできるようにする

表現・推敲

➤ 表現の過程での柔軟な調整
表現した後や表現の過程においても、
他者の受け取りを推察しながら、
表現の内容や方法を柔軟に調整し、
必要に応じて修正する

- 各教科等の特質に応じた指導例：
- メモをそのまま読むのではなく、相手の反応を見ながら言葉を選び直したり、非言語的手段を駆使したり、意図が十分に伝わっていないようなら表現した内容でも修正して話せるようにする
 - 一度書き上げた文章を読み手の立場から読み直したり、互いに読み合ったりして、目的・場面・相手に応じた表現になるように修正できるようにする

➤ 表現の前の省察や吟味
表現しようとする内容や構成・表現形式が、
真に表現の目的を達成するか、
意図しない結果を招かないか等の視点から省察し、
表現を吟味する

- 各教科等の特質に応じた指導例：
- 表現を構想した後すぐに発表・記述等をするのではなく、表現の受け取り等を想定させ、省察・吟味できるようにする
 - 表現しようとする内容や構成・表現形式を相互に参照し、受け取り方や改善の余地などについて検討させる

考えの形成

➤ 目的・場面・相手を踏まえた内容・構成の検討
自らの意思をもち考えを形成するとともに、
形成した自らの考えや意図が目的に沿ったものか、
相手に正確に伝わるかなどの視点から内容や構成、
表現形式を検討

- 各教科等の特質に応じた指導例：
- 作品製作、レポート、発表などの多様な表現活動の中で、自分の考えや意図が目的や条件などを十分に踏まえているかを検討させる
 - 目的や場面、相手に応じて言語情報を補足するのに効果的なメディアを選択し活用できるようにする

相手にどう受け取られるかを想像しつつ、自己の考えが伝わるよう工夫しながら豊かに表現

発信

【言語能力の育成のイメージ図】

言語能力の育成
※汎用的な言語能力+各教科等固有の言語能力(国語科固有を含む)

各教科等固有の言語能力
※各教科等の学習活動の充実により育まれる、数学的に説明する力、科学的に記述する力、道徳的価値の理解を深める議論の力など

**【柱①】
言語環境の整備**
※各学校において

【学習活動を支える土壌】
※学校全体における学習活動を支える環境

**【柱②】
言語能力を高めるための
学習活動の充実**
※各教科等の特質に応じて

数学 特別活動
総合的な学習の時間 外国語
保健体育 社会 理科 音楽

※算数・社会・理科・外国語・特活など、各教科等で行われる言語能力を高めるための学習活動(実験記録、資料の読解、議論など)は汎用的な言語能力を基盤として充実
※教科等名は一部を挙げたもの

**【柱③】
読書活動の充実**
※各教科等において

【学習活動を豊かにする糧】
※教科横断的な読書等で語彙や関連する知識を増やしたり、考えを広げたり深めたりすることで各教科等の学習活動を下支え

汎用的な言語能力
※漢字、語彙、文や文章の構成、情報の整理など
※各教科等の学習活動の充実に資する

国語科固有の言語能力
※言葉を俯瞰的に捉え分析する力、文学的創作力 など

国語科の資質・能力
※汎用的な言語能力(漢字、語彙、文や文章の構成、情報の整理などの知識や技能の運用)や国語科固有の言語能力が育成される

教科の目標、見方・考え方（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
小学校	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うとともに我が国の言語文化に親しむことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活における人との関わりの中で、国語を通して互いの立場や考えを尊重しながら伝え合う力を高め、論理的に思考する力や豊かに想像する力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①考えたり感じたりしたことを積極的に言葉で伝え合い、他者との関わりの中で振り返り、言葉がもつよさを認識し、その能力の向上を図る態度を養う。 ②言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重する態度を養う。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うとともに我が国の言語文化を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活における人との関わりの中で、国語を通して互いの立場や考えを尊重しながら伝え合う力を高め、論理的に思考する力や豊かに想像する力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①考えたり感じたりしたことを積極的に言葉で伝え合い、他者との関わりの中で振り返り、言葉がもつ価値を認識し、その能力の向上を図る態度を養う。 ②言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重する態度を養う。
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うとともに我が国の言語文化を深く理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で、国語を通して互いの立場や考えを尊重しながら伝え合う力を高め、論理的に思考する力や豊かに想像する力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ①考えたり感じたりしたことを積極的に言葉で伝え合い、他者との関わりの中で振り返り、言葉のもつ価値への認識を深め、その能力の向上を図る態度を養う。 ②言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、国語を尊重する態度を養う。

見方・考え方

- 自分や他者の言葉を、その意味や使い方、表現の意図等に着目して多面的・多角的に吟味し、多様な立場や考えを理解しながら、丁寧に言葉を紡ぎ、よりよく伝え合うこと

資質・能力全体構造（素案）

		話すこと・聞くこと		
小学校	思考力・判断力・表現力等	総合的な発揮	言葉を使う目的 (仮称)	内容項目例
		目的などに応じて、日常生活に関わる課題や出来事などについて、自分の考えや感じたことなどを相手に伝えるように工夫して話すとともに、相手の話を聞いたり話し合ったりして考えを広げ深めることができる。	情報の伝達	・紹介や説明、報告などをする
			他者の説得	・理由に基づいて意見や提案をする
			情報の獲得／他者の主張の吟味	・説明や報告などを聞いて、感想を伝えたり自分の考えをもったりする
		合意形成	・尋ねたり応答したり、話し合いの進行を工夫したりするなどして、互いの発言を関連付けて考えをまとめる	
	知識及び技能	①各領域の学習の過程で生かし深める側面	統合的な理解	事項のまとめり (仮称)
日常生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。			言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（言葉の働き）言語が共通にもつ言葉の働きに気付く ・（話し言葉と書き言葉）文字と音声との対応、書き言葉のきまりなどを理解する ・（漢字）漢字を読む、漢字を書く ・（語彙）語句の量を増す、語句についての理解を深める ・（文や文章）単語、文、話、文章の構成を理解する ・（言葉遣い）相手や場に応じた言葉遣いを理解し使う ・（表現の技法）表現の技法の種類とその特徴を理解し使う
			情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（情報と情報との関係）情報と情報との様々な関係を理解する ・（情報の整理）情報の整理の仕方やそのための手段を理解し使う
②各領域の学習を支え文化的な知識や態度、教養として深める側面		統合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例
	幅広く多様な言葉に触れ蓄えながら言語文化のもつ意義や価値に気付くことが、自己の形成、日常生活の向上、文化の創造と継承につながることを理解している。	我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（伝統的な言語文化）伝統的な言語文化に親しむ ・（言葉の由来や変化）言葉の由来や変化を理解する ・（書写）我が国の伝統的な文字文化に親しみ、文字を効果的に書く ・（読書）読書の意義や効用などを理解する 	

資質・能力全体構造（素案）

		書くこと		
小学校	思考力・判断力・表現力等	総合的な発揮	言葉を使う目的 (仮称)	内容項目例
		目的などに応じて、日常生活に関わる課題や出来事、自分の経験などについて、自分の考えや感じたことなどを相手に伝えるように工夫して文章を書くことができる。	情報の伝達	・記録や説明、報告などの文章を書く
			他者の説得	・理由に基づいて意見を述べる文章を書く
	感動の共有		・経験や想像したことを基に思いや感動を伝える文章を書く	
	知識及び技能	統合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例
		①各領域の学習の過程で生かし深める側面	言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（言葉の働き）言語が共通にもつ言葉の働きに気付く ・（話し言葉と書き言葉）文字と音声との対応、書き言葉のきまりなどを理解する ・（漢字）漢字を読む、漢字を書く ・（語彙）語句の量を増す、語句についての理解を深める ・（文や文章）単語、文、話、文章の構成を理解する ・（言葉遣い）相手や場に応じた言葉遣いを理解し使う ・（表現の技法）表現の技法の種類とその特徴を理解し使う
情報の扱い方に関する事項			<ul style="list-style-type: none"> ・（情報と情報との関係）情報と情報との様々な関係を理解する ・（情報の整理）情報の整理の仕方やそのための手段を理解し使う 	
②各領域の学習を支え文化的な知識や態度、教養として深める側面	統合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例	
	幅広く多様な言葉に触れ蓄えながら言語文化のもつ意義や価値に気付くことが、自己の形成、日常生活の向上、文化の創造と継承につながることを理解している。	我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（伝統的な言語文化）伝統的な言語文化に親しむ ・（言葉の由来や変化）言葉の由来や変化を理解する ・（書写）我が国の伝統的な文字文化に親しみ、文字を効果的に書く ・（読書）読書の意義や効用などを理解する 	

資質・能力全体構造（素案）

		読むこと		
小学校	思考力・判断力・表現力等	総合的な発揮	言葉を使う目的 (仮称)	内容項目例
		目的などに応じて文章を読んで内容を理解し、日常生活に関わる課題や出来事、自分の経験などと結び付けながら考えを広げ深めることができる。	情報の獲得	・説明や解説などの文章の内容を理解して自分の考えをもつ
			他者の主張の吟味	・文学的な文章の内容を理解して自分の考えをもつ
知識及び技能	①各領域の学習の過程で生かし深める側面	統合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例
		日常生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。	言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（言葉の働き）言語が共通にもつ言葉の働きに気付く ・（話し言葉と書き言葉）文字と音声との対応、書き言葉のきまりなどを理解する ・（漢字）漢字を読む、漢字を書く ・（語彙）語句の量を増す、語句についての理解を深める ・（文や文章）単語、文、話、文章の構成を理解する ・（言葉遣い）相手や場に応じた言葉遣いを理解し使う ・（表現の技法）表現の技法の種類とその特徴を理解し使う
			情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（情報と情報との関係）情報と情報との様々な関係を理解する ・（情報の整理）情報の整理の仕方やそのための手段を理解し使う
②各領域の学習を支える文化的な知識や態度、教養として深める側面	統合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例	
	幅広く多様な言葉に触れ蓄えながら言語文化のもつ意義や価値に気付くことが、自己の形成、日常生活の向上、文化の創造と継承につながることを理解している。	我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（伝統的な言語文化）伝統的な言語文化に親しむ ・（言葉の由来や変化）言葉の由来や変化を理解する ・（書写）我が国の伝統的な文字文化に親しみ、文字を効果的に書く ・（読書）読書の意義や効用などを理解する 	

資質・能力全体構造（素案）

		話すこと・聞くこと			
	思考力・判断力・表現力等	総合的な発揮	言葉を使う目的 (仮称)	内容項目例	
		目的などに応じて、社会生活に関わる課題や出来事などについて、自分の考えや感じたことなどを相手に伝わるように工夫して話すとともに、相手の話を聞いたり話し合ったりして考えを広げ深めることができる。	情報の伝達	・説明や解説などをする	
			他者の説得	・根拠に基づいて主張などを述べる	
			情報の獲得／他者の主張の吟味	・説明や解説、主張などを聞いて自分の考えをもつ	
		合意形成	・進行を工夫し互いの発言を関連付けて考えをまとめる		
中学校	知識及び技能	統合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例	
		①各領域の学習の過程で生かし深める側面	社会生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。	言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（言葉の働き）言語が共通にもつ言葉の働きに気付く ・（話し言葉と書き言葉）文字と音声との対応、書き言葉のきまりなどを理解する ・（漢字）漢字を読む、漢字を書く ・（語彙）語句の量を増す、語句についての理解を深める ・（文や文章）単語、文、話、文章の構成を理解する ・（言葉遣い）相手や場に応じた言葉遣いを理解し使う ・（表現の技法）表現の技法の種類とその特徴を理解し使う
				情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（情報と情報との関係）情報と情報との様々な関係を理解する ・（情報の整理）情報の整理の仕方やそのための手段を理解し使う
	②各領域の学習を支え文化的な知識や態度、教養として深める側面	統合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例	
		幅広く多様な言葉に触れ蓄えながら言語文化のもつ意義や価値を捉えることが、自己の形成、社会生活の向上、文化の創造と継承につながることを理解している。	我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（伝統的な言語文化）伝統的な言語文化に親しむ ・（言葉の由来や変化）言葉の由来や変化を理解する ・（書写）我が国の伝統的な文字文化を理解し、文字を効果的に書く ・（読書）読書の意義や効用などを理解する 	

資質・能力全体構造（素案）

		書くこと		
思考力・判断力・表現力等	総合的な発揮	言葉を使う目的 (仮称)	内容項目例	
		目的などに応じて、社会生活に関わる課題や出来事、自分の経験などについて、自分の考えや感じたことを相手に伝えるように工夫して文章を書くことができる。	情報の伝達	・説明や解説などの文章を書く
			他者の説得	・根拠に基づいて主張する文章などを書く
		感動の共有	・経験や想像したことを基に思いや感動を伝える文章などを書く	
知識及び技能	①各領域の学習の過程で生かし深める側面	統合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例
		社会生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。	言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（言葉の働き）言語が共通にもつ言葉の働きに気付く ・（話し言葉と書き言葉）文字と音声との対応、書き言葉のきまりなどを理解する ・（漢字）漢字を読む、漢字を書く ・（語彙）語句の量を増す、語句についての理解を深める ・（文や文章）単語、文、話、文章の構成を理解する ・（言葉遣い）相手や場に応じた言葉遣いを理解し使う ・（表現の技法）表現の技法の種類とその特徴を理解し使う
			情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（情報と情報との関係）情報と情報との様々な関係を理解する ・（情報の整理）情報の整理の仕方やそのための手段を理解し使う
	②各領域の学習を支え文化的な知識や態度、教養として深める側面	統合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例
	幅広く多様な言葉に触れ蓄えながら言語文化のもつ意義や価値を捉えることが、自己の形成、社会生活の向上、文化の創造と継承につながることを理解している。	我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（伝統的な言語文化）伝統的な言語文化に親しむ ・（言葉の由来や変化）言葉の由来や変化を理解する ・（書写）我が国の伝統的な文字文化を理解し、文字を効果的に書く ・（読書）読書の意義や効用などを理解する 	

資質・能力全体構造（素案）

		読むこと		
	思考力・判断力・表現力等	総合的な発揮	言葉を使う目的 (仮称)	内容項目例
		目的などに応じて文章を読んで内容を理解し、社会生活に関わる課題や出来事、自分の経験などと結び付けながら考えを広げ深めることができる。	情報の獲得	・説明や解説などの文章の内容を理解して自分の考えをもつ
			他者の主張の吟味	・論説などの文章の内容を理解して自分の考えをもつ
感動への共感	・文学的な文章の内容を理解して自分の考えをもつ			
中学校	知識及び技能	統合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例
		①各領域の学習の過程で生かし深める側面 社会生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。	言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（言葉の働き）言語が共通にもつ言葉の働きに気付く ・（話し言葉と書き言葉）文字と音声との対応、書き言葉のきまりなどを理解する ・（漢字）漢字を読む、漢字を書く ・（語彙）語句の量を増す、語句についての理解を深める ・（文や文章）単語、文、話、文章の構成を理解する ・（言葉遣い）相手や場に応じた言葉遣いを理解し使う ・（表現の技法）表現の技法の種類とその特徴を理解し使う
			情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（情報と情報との関係）情報と情報との様々な関係を理解する ・（情報の整理）情報の整理の仕方やそのための手段を理解し使う
②各領域の学習を支え文化的な知識や態度、教養として深める側面 幅広く多様な言葉に触れ蓄えながら言語文化のもつ意義や価値を捉えることが、自己の形成、社会生活の向上、文化の創造と継承につながることを理解している。	事項のまとめり (仮称)	我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（伝統的な言語文化）伝統的な言語文化に親しむ ・（言葉の由来や変化）言葉の由来や変化を理解する ・（書写）我が国の伝統的な文字文化を理解し、文字を効果的に書く ・（読書）読書の意義や効用などを理解する 	

資質・能力の全体構造（素案）

		話すこと・聞くこと		
思考力・判断力・表現力等	総合的な発揮	言葉を使う目的 (仮称)	内容項目例	
		情報の伝達	資料に基づいて説明したり解説したりする	
		他者の説得	根拠に基づいた主張や、論拠に基づいた同意、反論を述べる	
		情報の獲得／他者の主張の吟味	説明や解説、主張などを聞いて自分の考えをもつ	
		合意形成	表現や進行など、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する	
高等学校	知識及び技能	総合的な理解	事項のまとめり (仮称)	
		生涯にわたる社会生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。	言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（言葉の働き）言語が共通にもつ言葉の働きに気付く ・（話し言葉と書き言葉）文字と音声との対応、書き言葉のきまりなどを理解する ・（漢字）漢字を読む、漢字を書く ・（語彙）語句の量を増す、語句についての理解を深める ・（文や文章）単語、文、話、文章の構成を理解する ・（言葉遣い）相手や場に応じた言葉遣いを理解し使う ・（表現の技法）表現の技法の種類とその特徴を理解し使う
			情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（情報と情報との関係）情報と情報との様々な関係を理解し使う ・（情報の整理）情報の整理の仕方やそのための具体的な手段を理解し使う
		総合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例
	②各領域の学習を支え文化的な知識や態度、教養として深める側面	幅広く多様な言葉に触れ蓄えながら言語文化のもつ意義や価値を深く捉えることが、自己の形成、生涯にわたる社会生活の向上、文化の創造と継承につながることを理解している。	我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（読書）読書の意義や効用などを理解する

資質・能力の全体構造（素案）

		書くこと			
高等学校	思考力・判断力・表現力等	総合的な発揮	言葉を使う目的 (仮称)	内容項目例	
		目的などに応じて、生涯にわたる社会生活に関わる課題や出来事などについて、自分の考えや感じたことなどを相手に的確に伝わるように効果的に表現した文章を書くことができる。	情報の伝達	・説明や解説などの文章を書く	
			他者の説得	・自分の意見や考えを論述する	
高等学校	知識及び技能	①各領域の学習の過程で生かし深める側面	統合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例
			生涯にわたる社会生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。	言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（言葉の働き）言語が共通にもつ言葉の働きに気付く ・（話し言葉と書き言葉）文字と音声との対応、書き言葉のきまりなどを理解する ・（漢字）漢字を読む、漢字を書く ・（語彙）語句の量を増す、語句についての理解を深める ・（文や文章）単語、文、話、文章の構成を理解する ・（言葉遣い）相手や場に応じた言葉遣いを理解し使う ・（表現の技法）表現の技法の種類とその特徴を理解し使う
		②各領域の学習を支え文化的な知識や態度、教養として深める側面	情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（情報と情報との関係）情報と情報との様々な関係を理解し使う ・（情報の整理）情報の整理の仕方やそのための具体的な手段を理解し使う 	
			統合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例
		幅広く多様な言葉に触れ蓄えながら言語文化のもつ意義や価値を深く捉えることが、自己の形成、生涯にわたる社会生活の向上、文化の創造と継承につながることを理解している。	我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（読書）読書の意義や効用などを理解する 	

資質・能力の全体構造（素案）

		読むこと		
高等学校	思考力・判断力・表現力等	総合的な発揮	言葉を使う目的 (仮称)	内容項目例
		目的などに応じて文章を読んで内容を理解し、生涯にわたる社会生活に関わる課題や出来事などと結び付けながら考えを広げ深めることができる。	情報の獲得	・説明や解説などの文章の内容を適切に理解して自分の考えをもつ
			他者の主張の吟味	・論説などの文章の内容を適切に理解して自分の考えをもつ
		感動への共感		
高等学校	知識及び技能	総合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例
		生涯にわたる社会生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。	言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（言葉の働き）言語が共通にもつ言葉の働きに気付く ・（話し言葉と書き言葉）文字と音声との対応、書き言葉のきまりなどを理解する。 ・（漢字）漢字を読む、漢字を書く ・（語彙）語句の量を増す、語句についての理解を深める ・（文や文章）単語、文、話、文章の構成を理解する ・（言葉遣い）相手や場に応じた言葉遣いを理解し使う ・（表現の技法）表現の技法の種類とその特徴を理解し使う
			情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（情報と情報との関係）情報と情報との様々な関係を理解し使う ・（情報の整理）情報の整理の仕方やそのための具体的な手段を理解し使う
		総合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例
	②各領域の学習を支え文化的な知識や態度、教養として深める側面	幅広く多様な言葉に触れ蓄えながら言語文化のもつ意義や価値を深く捉えることが、自己の形成、生涯にわたる社会生活の向上、文化の創造と継承につながることを理解している。	我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（読書）読書の意義や効用などを理解する

資質・能力の全体構造（素案）

		書くこと		
思考力・判断力・表現力等		総合的な発揮	言葉を使う目的 (仮称)	内容項目例
		目的などに応じて、自分の経験などについて、自分の考えや感じたことなどを相手の的確に伝わるように効果的に表現した文章を書くことができる。	情報の伝達	
			他者の説得	
		感動の共有		・経験や想像したことを基に思いや感動を効果的に伝える文章などを書く
高等学校	①各領域の学習の過程で生かし深める側面	総合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例
		生涯にわたる社会生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。	言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（言葉の働き）言葉が共通にもつ言葉の働きに気付く ・（話し言葉と書き言葉）文字と音声との対応、書き言葉のきまりなどを理解する ・（漢字）漢字を読む、漢字を書く ・（語彙）語句の量を増す、語句についての理解を深める ・（文や文章）単語、文、話、文章の構成を理解する ・（言葉遣い）相手や場に応じた言葉遣いを理解し使う ・（表現の技法）表現の技法の種類とその特徴を理解し使う
			情報の扱い方に関する事項	
	②各領域の学習を支え文化的な知識や態度、教養として深める側面	総合的な理解	事項のまとめり (仮称)	内容項目例
		幅広く多様な言葉に触れ蓄えながら言語文化のもつ意義や価値を深く捉えることが、自己の形成、生涯にわたる社会生活の向上、文化の創造と継承につながることを理解している。	我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・（伝統的な言語文化）伝統的な言語文化に親しみ、その特質を理解する ・（言葉の由来や変化）言葉の由来や変化、多様性を理解する ・（読書）読書の意義や効用などを理解する

資質・能力の全体構造（素案）

		読むこと	
思考力・判断力・表現力等	総合的な発揮	言葉を使う目的（仮称）	内容項目例
		目的などに応じて文章を読んで内容を理解し、自分の経験などと結び付けながら考えを広げ深めることができる。	情報の獲得
			他者の主張の吟味
			感動への共感
			・文学的な文章の内容を適切に理解して自分の考えをもつ
		古典に学ぶ	・様々な古典作品を読み、我が国の伝統的な言語文化について自分の考えをもつ
高等学校	知識及び技能	総合的な理解	内容項目例
		生涯にわたる社会生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。	事項のまとまり（仮称） 言葉の特徴や使い方に関する事項
			<ul style="list-style-type: none"> ・（言葉の働き）言葉が共通にもつ言葉の働きに気付く ・（話し言葉と書き言葉）文字と音声との対応、書き言葉のきまりなどを理解する ・（漢字）漢字を読む、漢字を書く ・（語彙）語句の量を増す、語句についての理解を深める ・（文や文章）単語、文、話、文章の構成を理解する ・（言葉遣い）相手や場に応じた言葉遣いを理解し使う ・（表現の技法）表現の技法の種類とその特徴を理解し使う
		情報の扱い方に関する事項	
		総合的な理解	内容項目例
	②各領域の学習を支え文化的な知識や態度、教養として深める側面	事項のまとまり（仮称）	我が国の言語文化に関する事項
	幅広く多様な言葉に触れ蓄えながら言語文化のもつ意義や価値を深く捉えることが、自己の形成、生涯にわたる社会生活の向上、文化の創造と継承につながることを理解している。		<ul style="list-style-type: none"> ・（伝統的な言語文化）伝統的な言語文化に親しみ、その特質などを理解する ・（言葉の由来や変化）言葉の由来や変化、多様性を理解する ・（読書）読書の意義や効用などを理解する



**外国語WGにおける議論の補足イメージ
及び教科の目標、見方・考え方、
資質・能力の全体構造（素案）**

構造化のイメージ（中学校の例）

令和7年12月24日
外国語WG（第6回）
【資料】P16
（会議後修正）

現状

外国語の目標

知識及び技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・
人間性等

英語の目標（領域別目標）

聞く
こと

読む
こと

話すこと
(やり取り)

話すこと
(発表)

書く
こと

内容

知識及び技能

音声/符号/語、連語及び慣用表現/文、文構造及び文法事項

思考力・判断力・表現力等

情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、
伝え合ったりすることに関する事項

言語活動及び言語の働きに関する事項

言語活動(例)

聞く
こと

読む
こと

話すこと
(やり取り)

話すこと
(発表)

書く
こと

言語の使用場面(例)

言語の働き(例)

内容の取扱い

言語材料の段階的な指導、指導内容や指導方法の工夫 など

※改善イメージにおいても引き続き記載

改善イメージ

外国語の目標

知識及び技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・
人間性等

英語の目標

英語の目標は3つ
の柱で整理

知識及び技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・
人間性等

内容

思考力・判断力・表現力等

CEFRの分類も踏ま
えて3つに整理

思考力、判断力、表現力等の総合的な発揮
(理解する) (表現する) (伝え合う)

聞く
こと

読む
こと

話すこと
(やり取り)

話すこと
(発表)

書く
こと

「並行」パターンで示す

知識及び技能

知識及び技能に関する統合的な理解

言語の働きを「知・
技」に位置付ける

音声/符号/語、連語及び慣用表現/文、文構造及び文法事項、言語の働き(例) など

※技能は5領域と関連付けて示す

内容の取扱い

言語活動(例)

「内容」は資質・能力に限
定し、「言語活動の例」と
「言語の使用場面の例」
は内容の取扱いへ

聞く
こと

読む
こと

話すこと
(やり取り)

話すこと
(発表)

書く
こと

言語の使用場面(例)

領域別目標の要素を「内容」
に位置付け、段階的な高度化
と資質・能力の深まりを示す

AI時代に外国語を必修とする「本質的意義」の再整理 (Ver. 3)

— 自らの人生を舵取りできる、多様な他者と協働できる資質・能力への貢献の観点から —

1. 言葉、文化、コミュニケーションへの深い理解を育むこと

● 異なる言語・文化への理解を促す

- 自らと異なる他者の言語や文化等との接触・理解・共感・受容
- 言語習得の困難の経験による外国人や日本語学習者の立場・心情の理解
 - ➔ 以上が相まって、多様な主張や価値観への寛容性を生み、多様性の包摂や多文化共生に対する理解を促す可能性

● 母語や自国の文化のメタ認知を促す

- 外国語と対比されることにより、母語の特徴や良さの認知に繋がる
- 外国の文化と対比されることにより、自国の文化への理解が深まる
- 外国人に伝えるため、自国の歴史・文化を学ぶ動機付けが促される

● コミュニケーションへの深い理解を促す

- 言語や文化のメタ認知やコミュニケーション等の経験を通じた相手意識の向上
 - ・相手の言葉や意図の受け止め方（聞く・読む）
 - ・相手や相手の文化への配慮、コミュニケーションの目的、場面や状況等に応じた表現、自分の言葉の分かりやすさ（「やさしい日本語」にも繋がる）（話す・書く）
- 伝わらないもどかしさや失敗を乗り越えるレジリエンスや伝わることによる自己肯定感等の高まり、それらを行き来する経験
- ノンバーバル・コミュニケーションの重要性の理解や表現方法の工夫（アイコンタクト、間の取り方、身振り・手振り等）
 - ➔ 以上が相まって、翻訳ツール等によるやり取りを超えた、生身の身体を有する人間同士のリアルなコミュニケーションへの関心・意欲を促す可能性

2. 自分の考えが磨かれて思考が深まる、人間関係が豊かになること

● 外国語を介して、自分の考え・意見の形成・整理が促進される

- 外国語を通じて流通する多様な主張や価値観、感性への接触・受容
- 外国語で対話・協働するために、普段から自分の考え・意見を整理したり、外国語ならではの論理展開で伝える意識が向上する
- 外国人に伝えるため、自国の歴史・文化を学ぶ動機付けが促される（再掲）
 - ➔ アウトプットを意識した効果的インプットや論理的思考力の伸長を促す可能性

● 人間関係の質・量が豊かになり、得られる情報も増える

- 世界中の様々な人々と直接つながり、信頼関係の構築が可能となる
- 人間同士のリアルなコミュニケーションにより、翻訳やAIを介する場合と比べて得られる情報が格段に広がり、多面的視野に繋がる
- 異なる言語でのコミュニケーションを通じて新たな自分を発見できたり、より広い視野から自分の好き・得意を考えたり、複言語・複文化の強みを生かして将来の選択肢が広がる可能性も

※現在のAI技術を前提とした場合ではあるが、AIにより手軽に翻訳・通訳が可能となる中でも、出力の正確性・適切性を批判的に検討したり、ツールの力も使いつつも、リアルなコミュニケーションを行ったりするためには相応の英語力が必要という視点や、外国語によるコミュニケーションのためにAI技術を効果的に活用する力が必要という視点もある

※これらは外国語を学校教育で必修とすることの意義を卒業後も継続的に学習した場合も想定しながら整理したものであり、これらの全てが、全ての児童生徒において、初等中等教育の過程で高いレベルで発現すると考えているものではない

※AI技術が今後も予想を超える速さで進歩することを踏まえると、AIに代替されるべきではない、人間に残したい部分は何かを重視する必要（下線部分）

よりよい社会 (社会のウェルビーイング)

- 多様性の包摂、国内外の多様な他者との共生・共創
- グローバルな視点・情報を駆使した価値創造・課題解決
- 持続可能な民主主義・平和な社会の構築

幸福な人生 (個人のウェルビーイング)

- 国内外の多様な他者と直に意思疎通できる安心感・自信、豊かな人間関係
- 言葉の壁や国境を越えて自らの人生を舵取り（進学・留学・就職）
- 思考の多様性・柔軟性、価値観の再構築

教科の目標、見方・考え方（素案）

目標

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
小学校	外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ごく身近な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語によるコミュニケーションなどに興味・関心を持ち、粘り強く自分の考えや気持ちを伝えるときにも、相手を理解しようとする態度を養う。
	外国語	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声、文字、語彙、表現及び文構造並びに【P】言語の働きなどを理解するとともに、読むこと、書くことにおいて慣れ親しみ、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を読んだり書いたりして、伝え合うことができる基礎的な力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語によるコミュニケーションなどに興味・関心を持ち、対話・協働を通して考えを広げたり深めたりするとともに、自らの学習を調整して、他者との相互理解を図ろうとする態度を養う。
中学校		<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声、語彙、表現、文構造及び文法並びに【P】言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、様々な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語によるコミュニケーションなどに興味・関心を持ち、他者との対話・協働を通して考えを広げたり深めたりするとともに、自らの学習を調整して、他者との相互理解を深めようとする態度を養う。
高等学校		<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声、語彙、表現及び文法並びに【P】言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、幅広い話題について、外国語で情報や考えなどを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語によるコミュニケーションなどに興味・関心を持ち、他者との対話・協働を通して考えを広げたり深めたりするとともに、自らの学習を調整して、他者との相互理解を深め、外国語の習得に継続して取り組もうとする態度を養う。

見方・考え方

- 外国語及び外国語によるコミュニケーションを文化の違いや社会及び相手との関わりに着目して捉え、他者の考えを受け止めるとともに、表現等を工夫して自分の考え等を発信し、多様な他者との相互理解を図ること

資質・能力の全体構造（素案）

		総合的な発揮	領域	内容項目例（第3学年相当）		内容項目例（第4学年相当）		
外国語活動 小学校	思考力、判断力、表現力等	<p>ごく身近な話題について、</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報などを聞き、内容を推測することに慣れ親しむことができる。【理解する】 相手を意識しながら、自分の考えや気持ちなどを話して伝えることに慣れ親しむことができる。【表現する】 相手を意識しながら、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことに慣れ親しむことができ、相手を理解しようとする。【伝え合う】 	聞くこと	話題	相手のことや身の回りの物について	ごく身近な事柄について		
				条件	ゆっくりはっきりと話されれば			
				できること	(ア) 簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることに慣れ親しむことができる			
			話すこと（やり取り）	話題	基本的なやり取りに関する事柄について 自分ことや身の回りの物について	自分や相手のこと及びごく身近な事柄について		
				条件	簡単な語句や基本的な表現を用いて			
				できること	(ア) 挨拶、感謝、指示をしたりそれらに応じたりすることに慣れ親しむことができる (※基本的なやり取りに関する事柄に対応) (イ) 動作を交えながら、自分の考えや気持ちを伝え合うことに慣れ親しむことができる (※自分のことや身の回りの物に対応) (ウ) サポートを受けて、質問をしたり質問に答えたりすることに慣れ親しむことができる (※自分や相手のこと及びごく身近な事柄)			
			話すこと（発表）	話題	身の回りの物について 自分のことについて	ごく身近な事柄について		
				条件	簡単な語句や基本的な表現を用いて			
				できること	(ア) 人前で実物などを見せながら、話すことに慣れ親しむことができる			
				統合的な理解	領域	内容項目例（第3学年相当）		内容項目例（第4学年相当）
知識及び技能	<p>音声や基本的な表現に慣れ親しむことで、日本語と外国語の音声の違い等に気付くとともに、言語や文化の違いや共通点を体験的に理解している。</p>	英語の特徴等に関する事項	ア 音声	英語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いに気付く				
			イ 文字	文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かる <ul style="list-style-type: none"> 文字の名称を表す読み方を聞いて、大文字や小文字と結びつけられる 身の回りの物を表す語句の発音を聞いて、何を指しているか分かる 				
		【P】言語の働きに関する事項 (pragmatic competence)	次の事項について、使用される場面やその働きに、体験的に気付く					
			ア【P】対人関係形成・創造 (interpersonal)			…		
			イ【P】情報交換・要件遂行 (transactional)			…		
			ウ【P】問題解決・合意形成 (evaluative)			…		
文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、多様な考え方があることに気付く 異なる文化を持つ人々との交流などを体験し、文化等に関する理解を深める 							

資質・能力の全体構造（素案）

		総合的な発揮	領域	内容項目例（第5学年相当）	内容項目例（第6学年相当）
外国語 小学校(1/2) 思考力、判断力、表現力等	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近な事柄について、 ・聞いて情報を捉え、考えを形成するとともに、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現の意味を考えながら読むことができる。【理解する】 ・自分の考えや気持ちなどを整理し、語句や表現を選んで相手に話して伝えるとともに、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、書いて伝えることができる。【表現する】 ・相手が話した内容を踏まえ、自分の考えや気持ちなどを、語句や表現を選んで伝え合うことができ、相互理解を図ることができる。【伝え合う】	聞くこと	話題	自分のことや相手のことについて 身近な事柄について	
			条件	ゆっくりはっきりと話されれば	
			できること	(ア) 簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる (イ) 具体的な情報を聞き取ることができる (ウ) 短い話の概要を捉えることができる	
		読むこと	話題	自分のことや相手のことについて 身近な事柄について	
			条件	音声で十分に慣れ親しんだ上で	
			できること	簡単な語句や基本的な表現を識別し、情報を得ることができる	
		話すこと (やり取り)	話題	基本的なやり取りに関する事柄について 自分のことや相手のこと及び身近な事柄について	自分のことや相手のこと及び身近な事柄について
			条件	簡単な語句や基本的な表現を用いて	
			できること	(ア) 挨拶をしたり、指示や依頼に応じたりすることができる（※基本的なやり取りに関する事柄に対応） (イ) 自分の考えや気持ちなどを述べ合うことができる（※自分のことや相手のこと及び身近な事柄に対応） (ウ) その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる (※自分のことや相手のこと及び身近な事柄に対応)	
		話すこと (発表)	話題	自分のことや身近な事柄について	
			条件	簡単な語句や基本的な表現を用いて	
			できること	(ア) 自分の考えや気持ちを話すことができる (イ) 自分の考えや気持ちを伝えようとする内容を整理した上で、話すことができる	
書くこと	話題	自分のことや相手のことについて 身近な事柄について			
	条件	音声で十分に慣れ親しんだ上で			
	できること	例となる語句や表現を参考に、自分の考えや気持ちなどを表す語句や表現を選んで書くことができる			

資質・能力の全体構造（素案）

		統合的な理解	領域	内容項目例（第5学年相当）		内容項目例（第6学年相当）	
小学校(2/2)	外国語	音声、語彙、表現及び文構造並びに【P】言語の働きなどの知識を、場面や状況に応じて組み合わせることで、英語による理解や表現の質を高めることを理解している。	英語の特徴等に関する事項	ア 音声	音声の特徴を理解し、読んだり話したりする際に、場面や状況に応じて活用できる。また、聞いたり話したりする際に、音声の特徴に気づき、場面に応じて活用できる …		
				イ 文字及び符号	英語の文字を識別し、その読み方を発音したり、大文字、小文字を書いたりできるようにすることができる。また、符号の意味や使い方を理解し、読んだり書いたりする際に場面に応じて活用できる		
					<ul style="list-style-type: none"> 大文字や小文字の形を認識し、名称の読みができる 音声と語句や表現を結びつけたり、音声と文字との関係に慣れ親しんだりすることができる コミュニケーションを行うために文字を書くことを意識させ、文字の形や長さなどを理解して、丁寧に語句や表現を書き写すことができる 終止符や疑問符、コンマなどの基本的な符号の使い方を理解することができる 		
				ウ 語、連語及び慣用表現	語、連語及び慣用表現が用いられる場面において、音声を中心に意味や使い方を理解することができる …		
				エ 文及び文構造	日本語と英語の語順の違い等に気付くとともに、場面に応じて活用できる。なお、文を書き写す際には、語と語の区切りに注意して書き写すことができる		
			【P】言語の働きに関する事項	次の事項について、使用される場面と関連付けながら、コミュニケーションを通して意味や働きを体験的に理解し、活用できる			
				ア …	…		

資質・能力の全体構造（素案）

総合的な発揮		領域	内容項目例 (第1学年相当)	内容項目例 (第2学年相当)	内容項目例 (第3学年相当)	
思考力、判断力、表現力等 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、様々な話題について、 ・ 聞いたり読んだりして必要な情報や考えなどを捉え、整理したり、既存の知識や経験と関連付けたり比較したりして、考えを形成することができる。【理解する】 ・ 情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、表現等を工夫して他者に伝えることができる。【表現する】 ・ 相手が話したり書いたりした内容を受け止めながら、情報や自分の考え、気持ちなどを、相手に分かりやすいように表現等を工夫して伝え合うことができ、相互理解を深めることができる。【伝え合う】	聞くこと	話題	日常的な話題について 身近な社会的な話題について			
		条件	簡単な語句や文で、はっきりと話されれば			
	読むこと	できること	(ア) 必要な情報を聞き取ることができる (イ) 概要を捉えることができる (ウ) 要点を捉えることができる			
		条件	簡単な語句や文で書かれた			
	話すこと (やり取り)	できること	(ア) 必要な情報を読み取ることができる (イ) 概要を捉えることができる (ウ) 要点を捉えることができる	日常的な話題について（身近な話題について、（自分にとって）興味・関心のある話題について） 身近な社会的な話題について		
		条件	簡単な語句や文を用いて			
	話すこと (発表)	できること	(ア) 自分の考えや気持ちなどを即興で伝え合うことができる（※身近な社会的な話題については対象としない） (イ) 事実や自分の考え、気持ちなどを整理し伝え合うことができる (ウ) 聞いたり読んだりしたことを基に、考えたことや感じたこと、その理由などを伝え合うことができる			
		条件	(ア) 自分の考えや気持ちなどを即興で話すことができる（※身近な社会的な話題については対象としない） (イ) 事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができる (ウ) 聞いたり読んだりしたことを基に、考えたことや感じたこと、その理由などを話すことができる			
	書くこと	条件	(ア) 情報や自分の考え、気持ちなどを文で書くことができる (イ) 事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる (ウ) 聞いたり読んだりしたことを基に、考えたことや感じたこと、その理由などを書くことができる			

資質・能力の全体構造（素案）

		統合的な理解	領域	内容項目例 (1学年相当)	内容項目例 (第2学年相当)	内容項目例 (第3学年相当)
中学校(2/2)	外国語 知識及び技能	音声、語彙、表現、文構造及び文法並びに【P】言語の働きなどの知識を、場面や状況に応じて組み合わせて使うことにより、英語による理解や表現の質を高めることを理解している。	英語の特徴やきまりに関する事項	ア 音声	音声の特徴を理解し、読んだり話したりする際に、場面や状況に応じて活用できる。聞いて意味を捉える際に、音声の特徴についての知識を活用できる …	
				イ 符号	符号の意味や使い方を理解し、読んだり書いたりする際に場面や状況に応じて活用できる …	
				ウ 語、連語及び慣用表現	語、連語及び慣用表現の意味や使い方を理解でき、聞いたり読んだりする際に、文脈に応じて活用できる。頻度の高いものについては、話したり書いたりする際にも、場面や状況に応じて活用できる …	
				エ 文、文構造及び文法事項	文、文構造及び文法事項の意味、形式及び働きを理解し、聞いたり読んだり、話したり書いたりする際に、場面や状況に応じて活用できる ・ 文 … ・ 文構造 … ・ 文法事項 …	
			【P】言語の働きに関する事項	次の事項について、使用される場面や状況でどのような働きをするのかを理解し、聞いたり読んだり、話したり書いたりする際に、場面や状況に応じて活用できる		
			ア …	…		

資質・能力の全体構造（素案）

		総合的な発揮	領域	内容項目例
高等学校（1/2） 外国語 思考力、判断力、表現力等	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、幅広い話題について、 ・聞いたり読んだりして、情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に捉え、整理したり、既存の知識や経験と関連付けたり比較したりして、考えを形成してまとめることができる。【理解する】 ・情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、論理性に注意しながら表現等を工夫して他者に適切に伝えることができる。【表現する】 ・相手が話したり書いたりした内容を受け止めながら、情報や自分の考え、気持ちなどを、相手に分かりやすいように論理性に注意しながら表現等を工夫して適切に伝え合うことができ、相互理解を深めることができる。【伝え合う】	聞くこと	話題	日常的な話題について 身近なものを含む社会的な話題について
			条件	話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、必要に応じて支援を活用すれば、対話や基本的な構成の叙述、説明、放送、意見などを聞いて、
		読むこと	できること	(ア) 話し手の意図を把握することができる（※日常的な話題に対応） (イ) 概要や要点を目的に応じて捉えることができる（※身近なものを含む社会的な話題に対応）
			条件	使用される語句や文、情報量などにおいて、必要に応じて支援を活用すれば、基本的な構成の叙述文、説明文、意見文などを読んで、
		話すこと（やり取り）	できること	(ア) 書き手の意図を把握することができる（※日常的な話題に対応） (イ) 概要や要点を目的に応じて捉えることができる（※身近なものを含む社会的な話題に対応）
			条件	使用する語句や文、対話の展開などにおいて、必要に応じて支援を活用すれば、多様な基本的な語句や文を用いて、
		話すこと（発表）	できること	(ア) 情報や自分の考え、気持ちなどを、即興で話して伝え合うやり取りを続けることができる（※日常的な話題に対応） (イ) 聞いたり読んだりして得られたことを活用しながら、情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、論理性に注意しながら話して伝え合うやり取りができる
			条件	使用する語句や文、事前の準備などにおいて、必要に応じて支援を活用すれば、多様な基本的な語句や文を用いて、
		書くこと	できること	(ア) 情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、論理性に注意しながら話して伝えることができる (イ) 聞いたり読んだりして得られたことを活用しながら、情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、論理性に注意しながら話して伝えることができる
			条件	使用する語句や文、事前の準備などにおいて、必要に応じて支援を活用すれば、多様な基本的な語句や文を用いて
			できること	(ア) 情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、論理性に注意しながら書いて伝えることができる (イ) 聞いたり読んだりして得られたことを活用しながら、情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、論理性に注意しながら書いて伝えることができる

資質・能力の全体構造（素案）

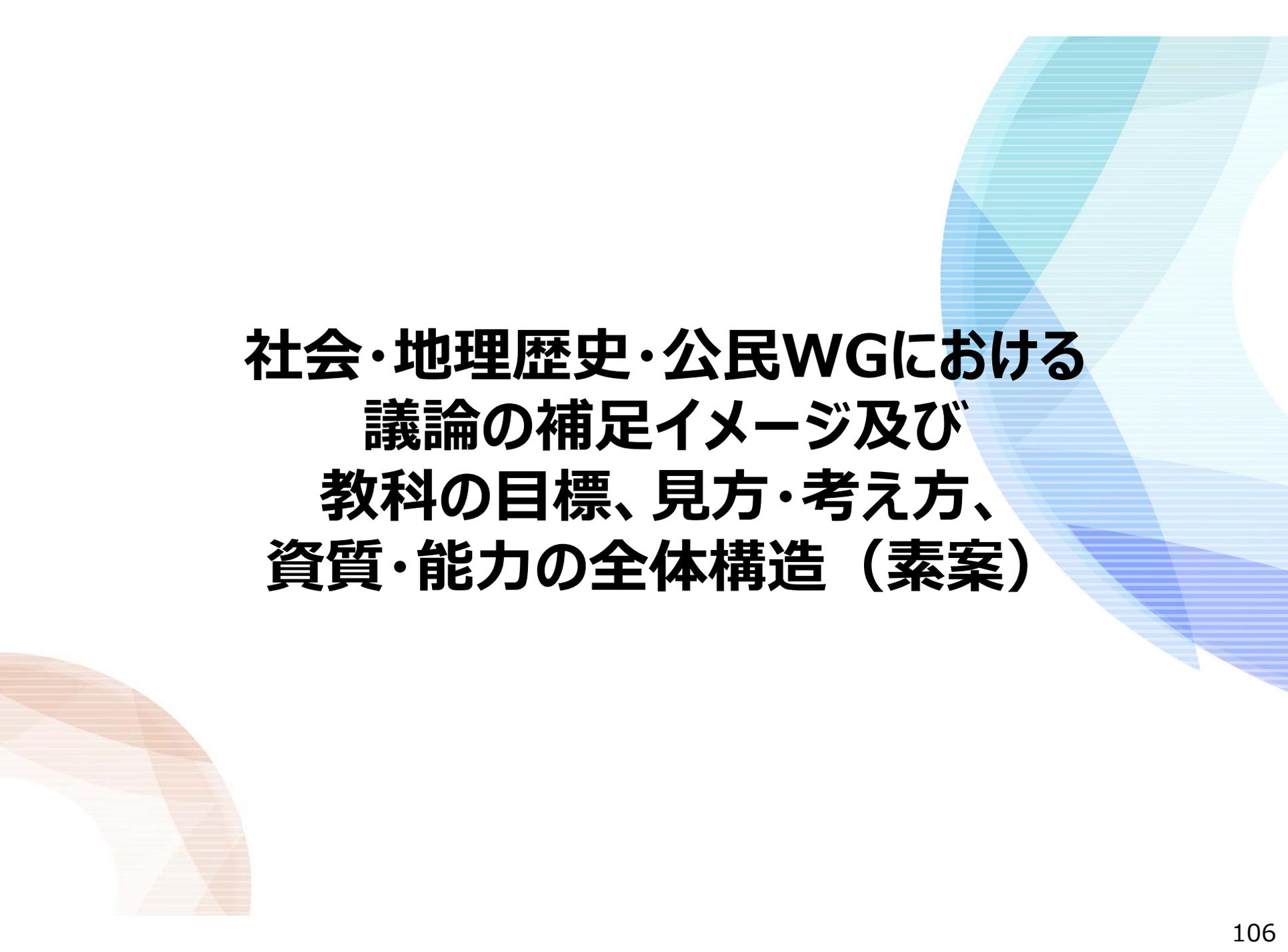
高等学校（2/2）	外国語	知識及び技能	統合的な理解	領域				
			音声、語彙、表現及び文法並びに【P】言語の働きなどの知識を、場面や状況に応じて組み合わせることで、英語による理解や表現の質を高めることを理解している。	英語の特徴やきまりに関する事項	ア 音声	音声の特徴を理解し、読んだり話したりする際に、場面や状況に応じて活用できる。聞いて意味を捉える際に、音声の特徴についての知識を活用できる	…	
					イ 符号	符号の意味や使い方を理解し、読んだり書いたりする際に場面や状況に応じて活用できる	…	
					ウ 語、連語及び慣用表現	語、連語及び慣用表現の意味や使い方を理解でき、聞いたり読んだりする際に、文脈に応じて活用できる。頻度の高いものについては、話したり書いたりする際にも、場面や状況に応じて活用できる	…	
						エ 文、文構造及び文法事項	文、文構造及び文法事項の意味、形式及び働きを理解し、聞いたり読んだり、話したり書いたりする際に、場面や状況に応じて活用できる	<ul style="list-style-type: none"> • 文 … • 文構造 … • 文法事項 …
					【P】言語の働きに関する事項	次の事項について、使用される場面や状況でどのような働きをするのかを理解し、聞いたり読んだり、話したり書いたりする際に、場面や状況に応じて活用できる	ア …	…

資質・能力の全体構造（素案）

高等学校（172） 外国語 思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、幅広い話題について、 ・情報や自分の考え、意見や主張などを整理し、論理の構成・展開及び表現等を工夫して他者に適切に伝えることができる。【表現する】 ・相手が話したり書いたりした内容を受け止めながら、情報や自分の考え、意見や主張などを、相手に分かりやすいように論理の構成・展開及び表現等を工夫して適切に伝え合うことができ、相互理解を深められる。【伝え合う】	領域		
			話すこと（やり取り）	話題	日常的な話題について 身近なものを含む社会的な話題について
				条件	使用する語句や文、対話の展開などにおいて、必要に応じて支援を活用すれば、多様な基本的な語句や文を用いて
				できること	（ア）情報や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合うやり取りが円滑に進むように方策を講じながら、会話を継続することができる（※日常的な話題に対応） （イ）やり取りを通して必要な情報を得ることができる（※日常的な話題に対応） （ウ）ディスカッションやディベートにおいて、聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、論理の構成・展開及び表現等を工夫して、情報や意見、主張などを話して伝え合うことができる
			話すこと（発表）	条件	使用する語句や文、事前の準備などにおいて、必要に応じて支援を活用すれば、多様な基本的な語句や文を用いて
				できること	（ア）情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、論理の構成・展開及び表現等を工夫して話して伝えることができる（※日常的な話題に対応） （イ）スピーチやプレゼンテーションなどにおいて、聞いたり読んだりして得られたことを活用しながら、論理の構成・展開及び表現等を工夫して、情報や自分の意見、主張などを話して伝えることができる
			書くこと	条件	使用する語句や文、事前の準備などにおいて、必要に応じて支援を活用すれば、多様な基本的な語句や文を用いて
				できること	（ア）オンライン上などで、情報や自分の考え、気持ちなどを書いて伝え合うやり取りを行うことができる（※日常的な話題に対応） （イ）情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、論理の構成・展開及び表現等を工夫して叙述文、説明文、意見文などを書いて伝えることができる （ウ）聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、論理の構成・展開及び表現等を工夫して、叙述文、説明文、意見文などの形式で、情報や意見、主張などを書いて伝えることができる

資質・能力の全体構造（素案）

高等学校（2/2）	外国語	知識及び技能	統合的な理解	英語の特徴やきまりに関する事項	ア 音声	音声の特徴を理解し、話す際に、場面や状況に応じて活用できる
			イ 符号		符号の意味や使い方を理解し、書く際に活用できる	
			ウ 語、連語及び慣用表現		語、連語及び慣用表現の意味や使い方を理解でき、話したり書いたりする際に、場面や状況に応じて活用できる	
			エ 文、文構造及び文法事項		文、文構造及び文法事項の意味と形式及び働きを理解し、話したり書いたりする際に、場面や状況に応じて活用できる	
			オ 論理の構成・展開及び表現		様々な論理の構成・展開及びそれらに応じた表現を理解し、話したり書いたりする際に、場面や状況に応じて活用できる	
			【P】言語の働きに関する事項		次の事項について、使用される場面や状況でどのような働きをするのかを理解し、話したり書いたりする際に、場面や状況に応じて活用できる	
			ア …		…	
			イ …		…	
			ウ …		…	
			エ …		…	



**社会・地理歴史・公民WGにおける
議論の補足イメージ及び
教科の目標、見方・考え方、
資質・能力の全体構造（素案）**

社会科等の新たな「見方・考え方」の見直しイメージ

現行の記載

・側面①「各教科等の学びの深まりを示す」観点と、側面②「各教科等を学ぶ本質的な意義の中核を示す」観点が混在

<地理>

【現行の見方・考え方】

見方・考え方
・位置や空間的な広がり
・地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付ける

※H28答申「社会的な見方・考え方」を働かせたイメージ例より
○位置や分布に関わる視点（絶対的、相対的、地域差など）
○場所に関わる視点（自然的、社会的など）
○人間と自然の相互依存関係に関わる視点（環境依存性、伝統的、改変、保全など）
○空間相互依存作用に関わる視点（関係性、相互性 など）
○地域に関わる視点（一般的共通性、地方的特殊性 など）

<歴史>

【現行の見方・考え方】

見方・考え方
・時期、推移など
・類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付ける

※H28答申「社会的な見方・考え方」を働かせたイメージ例より
○時系列に関わる視点（時期、年代など）
○諸事象の推移に関わる視点（展開、変化、継続など）
○諸事象の比較に関わる視点（類似、差異、特色など）
○事象相互のつながりに関わる視点（背景、原因、結果、影響など）

見直し案

・新たな「見方・考え方」については、側面②「各教科等を学ぶ本質的な意義の中核を示す」観点として、**当該分野等の本質を示す事項に焦点化**。
・**高次の資質・能力**については、側面①「各教科等の学びの深まりを示す事項」として、知識及び技能や、思考力、判断力、表現力等の内容に即して**具体的に示す**こととしてはどうか。

【新たな「見方・考え方」】

新たな「見方・考え方」
・地域の空間的な広がり、地域の環境、地域間の関係など
・よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること

【高次の資質・能力での記載事項】

<視点>
○位置や分布（**地域の空間的な広がり**に関わる視点）
○人間生活と自然環境との関係（**地域の環境**に関わる視点）
○地域間の結び付き（**地域の空間的な広がり**、**地域間の関係**に関わる視点）
○スケール（**地域の空間的な広がり**、**地域間の関係**に関わる視点）
○変容（**地域の空間的な広がり**、**地域の環境**、**地域間の関係**に関わる視点）
<方法>
※各内容項目の特性に応じて、具体的な考察の方法等を記載

【新たな「見方・考え方」】

新たな「見方・考え方」
・時系列、推移、類似や差異、因果関係や現在とのつながりなど
・よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること

【高次の資質・能力での記載事項】

<視点>
○時期や年代（**時系列**に関わる視点）
○展開や変化（諸事象の**推移**に関わる視点）
○共通点や相違点（過去の歴史との**類似や差異**に関わる視点）
○背景や原因、結果や影響（**因果関係**に関わる視点）
<方法>
※各内容項目の特性に応じて、具体的な考察の方法等を記載

社会科等の新たな「見方・考え方」の見直しイメージ(案) <教科科目・分野一覧>

教科科目・分野	現行の記載	見直し案
小学校社会	【社会的事象の見方・考え方】 社会的事象を、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること	社会的事象やその言説を、地域の空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること
中学校社会 (地理的分野)	【社会的事象の地理的な見方・考え方】 社会的事象を位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること	社会的事象やその言説を、地域の空間的な広がり、地域の環境、地域間の関係などに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること
高等学校地理歴史 (地理総合、地理探究)	【社会的事象の地理的な見方・考え方】 社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること	
中学校社会 (歴史的分野)	【社会的事象の歴史的な見方・考え方】 社会的事象を、時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付けたりすること	社会的事象やその言説を、時系列、推移、類似や差異、因果関係や現在とのつながりなどに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること
高等学校地理歴史 (歴史総合、日本史探究、世界史探究)	【社会的事象の歴史的な見方・考え方】 社会的事象を、時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付けたりすること	
中学校社会 (公民的分野)	【現代社会の見方・考え方】 社会的事象を政治、法、経済などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること	社会的事象やその言説を、政治、法、経済などに関わる概念や理論などに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること
高等学校公民 (公共)	【人間と社会の在り方についての見方・考え方】 社会的事象等を、倫理、政治、法、経済などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え、よりよい社会の構築や人間としての在り方生き方についての自覚を深めることに向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること	
高等学校公民 (倫理)	【人間としての在り方生き方についての見方・考え方】 社会的事象等を、倫理、哲学、宗教などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え、人間としての在り方生き方についての自覚を深めることに向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること	
高等学校公民 (政治・経済)	【社会の在り方についての見方・考え方】 社会的事象等を、政治、法、経済などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること	

(見方・考え方)
 ●●(当該教科で扱う事象や対象)を●●(当該教科固有の物事を捉える視点)の視点から捉え(に着目して捉え)、●●(当該教科固有の考え方や判断の仕方)すること。

教科の目標、見方・考え方（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
小学校	<ul style="list-style-type: none"> 地域や我が国の国土の地理的環境，現代社会の仕組みや働き，地域や我が国の歴史や伝統と文化に関する学習を通して社会生活に関する概念について理解する。 様々な資料や調査活動を通して確かな情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考えたり，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力を養う。 考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 自らの考えを問い返し、捉え直す力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象について，よりよい社会を考え見通しを立てたり，自らの学びを振り返りながら主体的かつ協働的に問題解決しようとする態度を養う。 多角的な思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚，我が国の国土と歴史に対する愛情，我が国の将来を担う国民としての自覚，世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

見方・考え方

- 社会的事象やその言説を，地域の空間的な広がり，時期や時間の経過，事象や人々の相互関係などに着目して捉え，よりよい社会の形成に向けて課題を多角的に考え，根拠に基づき公正に判断すること

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		白地図や年表，文などにまとめて，身近な地域や市区町村は，地形や交通，公共施設など様々な場所による違いがあること，時間の経過とともに移り変わってきたことなどを基に成り立っていることを理解する。	位置や空間的な広がり，時期や時間の経過，事象や人々の相互関係などの視点に着目して，市区町村の地理的環境や移り変わり，人々の生活の変化について考えたり，これからの市の発展を考えたりして，表現することができる。
		内容項目例（①身近な地域や市区町村の様子）	
小学校 第3学年 (1)身近な地域や市区町村の様子		都道府県内における市の位置，市の地形や土地利用，交通の広がり，市役所など主な公共施設の場所と働き，古くから残る建造物の分布などを，観察・調査したり地図などの資料で調べたりすることを通して理解する。	都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、場所による違いを考え、表現する。
		内容項目例（②市の様子の移り変わり）	
		自分たちの市は、時間の経過に伴い，交通網が整備されてきたこと，公共施設などが建設されてきたこと，土地利用の様子や人口が変化してきたこと，生活で使う道具などが改良され変わってきたことなどを，聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりすることを通して理解する。	交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期による違いに着目して，それらの変化を考え，表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

小学校 第3学年	(2)地域に見られる生産や販売の仕事	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		白地図や文などにまとめて、地域に見られる生産や販売の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることや消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めようと工夫して行われていることを理解する。	位置や空間的な広がり、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、生産や販売の仕事について多角的に考え、表現することができる。
	内容項目例		
	(ア)地域には様々な生産に関する仕事があり、産地は市内に分布していること、一定の順序や工程があること、地域の人々の生活に使われていることなどを、見学・調査したり地図などの資料で調べたりすることを通して理解する。 (イ)販売の仕事は、様々な工夫をして販売していること、商品や人を通して国内の他地域や外国とも関わりがあることなどを、見学・調査したり地図などの資料で調べたりすることを通して理解する。	(ア)仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、関連を考え、表現する。 (イ)消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現する。	
	(3)地域の安全を守る働き	統合的な理解	総合的な発揮
文や図などにまとめて、地域の安全を守る働きは、関係機関が相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解する。		人々の相互関係などの視点に着目して、地域の安全を守る活動の様子について多角的に考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして、表現することができる。	
内容項目例			
緊急時は、関係機関がネットワークを活用して相互に連携すること、緊急事態が発生した時には、状況に応じて迅速かつ確実に事態に対処していることや、関係機関などが協力していること、地域の人々が対処していることなどを、見学・調査したり地図などの資料で調べたりすることを通して理解する。	施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現する。		

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		白地図や文などにまとめて、自分たちの都道府県は、地形や産業など特色があることや人々が協力して特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めている地域があることなどを基に成り立っていることを理解する。	位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、県の地理的環境の特色や県内の地域の特色を考えて、表現することができる。
		内容項目例（①都道府県の様子）	
小学校 第4学年	(1) 都道府県の様子	国内における自分たちの県の位置、隣接する県との位置関係、県全体の地形や主な産業、交通網の様子や主な都市の位置などを、地図帳や各種の資料で調べることを通して、理解する。また、各都道府県の名称や日本地図上の位置などを理解する。	我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、地理的環境の特色を考え、表現する。
		内容項目例（②県内の特色ある地域の様子）	
		県内には、地場産業が盛んな地域や国際交流に取り組んでいる地域、自然環境や伝統的な文化を保護・活用している地域など特色ある地域があること、それらの地域では、特色あるまちづくりを進めたり、人々の協力により観光などの産業を発展させたりしていることなどを、地図帳や各種の資料で調べることを通して、理解する。	特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、県内の地域の特色を考え、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校 第4学年	(2)人々の健康や生活環境を支える事業	統合的な理解	総合的な発揮
		文や図などにまとめて、人々の健康や生活環境を支える事業は、地域の人々の健康な生活や生活環境の維持と向上に役立っており、地域の人々の生活を支えていることを理解する。	位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、人々の健康や生活環境を支える事業について多角的に考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして、表現することができる。
		内容項目例	
		(ア)安全確保に努めていることや安定的に供給できるように進められていること、現在に至るまでに供給する仕組みが計画的に改善されてきたことなどを、見学・調査したり地図などの資料で調べたりすることを通して理解する。 (イ)廃棄物を安全かつ衛生的に処理していることや県内外の関係機関が相互に連携して処理したり再利用したりしていることなどを、見学・調査したり地図などの資料で調べたりすることを通して理解する。	(ア)供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、飲料水、電気、ガスを供給する事業が果たす役割を考え、表現する。 (イ)処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、廃棄物を処理する事業が果たす役割を考え、表現する。
(3)自然災害から人々を守る活動		統合的な理解	総合的な発揮
		文や図などにまとめて、自然災害から人々を守る活動は、これまで関係機関や地域の人々が連携して対処してきたり、今後の災害に対して様々な備えをして、人々を自然災害から守っていることを理解する。	時期や時間の経過、人々の相互関係などの視点に着目して、自然災害から人々を守る活動の働きを多角的に考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして、表現することができる。
		内容項目例	
		県内で過去に自然災害が発生していること、発生した際には県や市、関係機関や地域の人々が協力して対処してきたことや、関係機関と地域の人々は、起こり得る自然災害による被害を防いだり減らしたりするための備えをしていることなどを、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりすることを通して、理解する。	過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、活動の働きを考え、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校 第4学年	(4)県内の 伝統や文化、 先人の働き	統合的な理解	総合的な発揮
		年表や文などにまとめて、県内の伝統や文化は、地域の人々が受け継いできたことや、地域の発展など人々の様々な願いが込められていること、先人の働きは、地域の人々の生活の向上に貢献したことを理解する。	位置や空間的な広がり事象や人々の相互関係などの視点に着目して、人々の願いや努力を考えたり、地域の人々の生活の向上に貢献した先人の働きについて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして、表現することができる。
		内容項目例	
		(ア)文化財や年中行事が受け継がれていること、それらは地域の歴史を伝えるものであることなどを、見学・調査したり地図などの資料で調べたりすることを通して理解する。 (イ)先人は様々な苦心や努力を重ねて業績を成し遂げたことや、当時の人々の生活の向上や地域の発展に大きく貢献したことなどを、見学・調査したり地図などの資料で調べたりすることを通して理解する。	(ア)歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、人々の願いや努力を考え、表現する。 (イ)当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、先人の働きを考え、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
小学校 第5学年 (1)我が国の国土の様子と国民生活	文や図などにまとめて、我が国の国土やその領域では、その自然条件と人々の生活や産業、国土の環境保全が関連して行われていることを理解する。	位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、自然条件と国民生活の関連や国土の環境保全について多角的に考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして、表現することができる。	
	内容項目例（①我が国の国土の様子と国民生活）		
	(ア)世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを、地図帳や地球儀、各種の資料で調べることを通して大まかに理解する。 (イ)我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを、地図帳や地球儀、各種の資料で調べることを通して理解する。	(ア)世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、我が国の特色を考え、表現する。 (イ)地形や気候などに着目して、国土の自然環境の特色や国土の特色と国民生活との関連を考え、表現する。	
	内容項目例（②我が国の国土の自然環境と国民生活との関連）		
(ア)我が国では、国土の自然条件との関係から様々な自然災害が起こりやすいこと、これからも発生する可能性があること、国や県などは、災害の種類や国土の自然条件に応じた対策や事業を進めていることなどを、地図帳や各種の資料で調べることを通して理解する。 (イ)我が国は、国土に占める森林面積の割合が高いこと、森林は国土の保全や水源の涵養などに大切な働きをしていること、森林はその育成や保護に従事している人々の取組により維持・管理されていることなどを、地図帳や各種の資料で調べることを通して理解する。 (ウ)我が国では、公害が発生して国民の健康や生活環境が脅かされてきたことや多くの人々の努力や協力により改善が図られてきたことなどを、地図帳や各種の資料で調べることを通して理解する。	(ア)災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、自然条件との関連を考え、表現する。 (イ)森林資源の分布や働きなどに着目して、森林資源が果たす役割を考え、表現する。 (ウ)公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、公害防止の取組の働きを考え、表現する。		

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		文や図などにまとめて、我が国の食料生産は、国土の自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解する。	位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、食料生産が国民生活に果たす役割を考えたり、これからの農業などの発展について多角的に考えたりして、表現することができる。
小学校 第5学年	(2)我が国の農業や水産業における食料生産	内容項目例	
		<p>(ア)食料生産は国民の食生活を支えていること、食料の生産量は国民生活と関連して変化していること、食料の中には外国から輸入しているものがあることなどを、地図帳や地球儀、各種の資料で調べることを通して理解する。</p> <p>(イ)農業や水産業の盛んな地域の人々が、生産性や品質を高めるなど様々な工夫や努力を行っていること、費用が発生すること、輸送方法や販売方法を工夫することにより収益を上げていることなどを、地図帳や地球儀、各種の資料で調べることを通して理解する。</p>	<p>(ア)生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現する。</p> <p>(イ)生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の働きを考え、表現する。</p>

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	
		統合的な理解	総合的な発揮	
		文や図などにまとめて、我が国の工業生産は、消費者の需要や社会に対応して行われていることや、国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解する。	位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、工業生産が国民生活に果たす役割を考えたり、これからの工業の発展について多角的に考えたりして、表現することができる。	
内容項目例				
小学校	第5学年	(3)我が国の工業生産	<p>(ア) 我が国では様々な種類の工業生産が行われ、工業が盛んな地域は全国各地に分布していること、工業製品の改良と国民生活の向上とは深い関わりがあることなどを、地図帳や地球儀、各種の資料で調べることを通して理解する。</p> <p>(イ) 工場で働く人々は様々な工夫や協力をしていること、工業生産には様々な工場が関連していること、優れた技術を生かして消費者の需要や社会の発展に応える研究開発などの努力を行っていることなどを、地図帳や地球儀、各種の資料で調べることを通して理解する。</p> <p>(ウ) 原材料や工業製品の輸出入の特色や、輸出入や出荷には、海上輸送、航空輸送、陸上輸送などが使われていることなどを、地図帳や地球儀、各種の資料で調べることを通して理解する。</p>	<p>(ア) 工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現する。</p> <p>(イ) 製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、我が国の工業生産の働きを考え、表現する。</p> <p>(ウ) 交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の役割を考え、表現する。</p>

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		文や図などにまとめて、情報を活用して発展する産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることや国民生活を向上させていることを理解する。	時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、情報の活用や、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について多角的に考えたりして、表現することができる。
		内容項目例	
小学校 第5学年	(4)我が国の産業と情報との関わり	(ア)放送、新聞などの産業は、正確な情報を分かりやすく速く伝えるために多種多様な情報を収集し、選択・加工していること、様々な情報媒体を活用していることなどを、聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりするを通して理解する。	(ア)情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、放送や新聞などの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現する。
		(イ)多様で大量の情報を瞬時に収集・発信し、それらを活用することで産業が変化し発展していること、国民が情報通信機器を利用することにより、いつでも、どこでも様々なサービスを享受でき、生活が向上していることなどを、聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりするを通して理解する。	(イ)情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	
		統合的な理解	総合的な発揮	
		文や図などにまとめて、我が国の政治は、日本国憲法の基本的な考え方に基づいて行われていることや、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図っていることを理解する。	事象や人々の相互関係などの視点に着目して、我が国の政治の働きについて、様々な面から考えたり、国民としての政治への関わり方について多角的に考えたりして、表現することができる。	
内容項目例				
小学校	第6学年	(1)我が国の政治の働き	<p>(ア)日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを、見学・調査したり各種の資料で調べたりすることを通して理解する。</p> <p>(イ)国や地方公共団体の政治は国民生活と密接な関係をもっていること、それらの政治は国民主権の考え方を基本として、国民の願いを実現し国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることなどを、見学・調査したり各種の資料で調べたりすることを通して理解する。</p>	<p>(ア)日本国憲法の基本的な考え方に着目して、日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現する。</p> <p>(イ)政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国民生活における政治の働きを考え、表現する。</p>

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		<p>文や図などにまとめて、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、我が国は長い歴史をもち伝統や文化を育んできたことを理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解する。</p>	<p>時期や時間の経過などの視点に着目して、先人の業績を政治や経済、世界との関わりなどの様々な面から、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現することができる。</p>
		内容項目例	
小学校 第6学年	(2)我が国の歴史上の主な事象	<p>遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、次のことを理解する。</p> <p>(ア)狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したこと、その際、神話・伝承を手掛かりに、国の形成に関する考え方などに関心をもつこと</p> <p>(イ)大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手掛かりに、天皇を中心とした政治が確立されたこと</p> <p>(ウ)貴族の生活や文化を手掛かりに、日本風の文化が生まれたこと</p> <p>(エ)源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、武士による政治が始まったこと</p> <p>(オ)京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたこと</p> <p>(カ)キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたこと</p> <p>(キ)江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したこと</p> <p>(ク)歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を手掛かりに、町人の文化が栄え新しい学問がおこったこと</p> <p>(ケ)黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたこと</p> <p>(コ)大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを手掛かりに、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したこと</p> <p>(サ)日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたこと</p>	<p>世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現する</p>

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	
		統合的な理解	総合的な発揮	
小学校	第6学年	(3)グローバル化する世界と日本の役割	<p>文や図などにまとめて、我が国は、他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であること、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解する。</p>	<p>位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、国際交流の果たす役割や国際社会において我が国が果たしている役割を考えたり、世界の人々と共に生きていくために大切なことや、我が国が国際社会において果たすべき様々な役割などを多角的に考えたり選択・判断したりして、表現することができる。</p>
			内容項目例	
		<p>(ア)外国の人々の生活の様子には違いがあること、その違いがその国の文化や習慣を特徴付けていること、国際的なスポーツ交流や様々な文化を通じた国際交流が行われていることなどを、地図帳や地球儀、各種の資料で調べることを通して理解する。</p> <p>(イ)国際連合の役割や我が国が平和な国際社会や諸外国の発展に貢献していること、今後も国際社会の平和と発展のために果たさなければならない責任と義務があることなどを、地図帳や地球儀、各種の資料で調べることを通して理解する。</p>	<p>(ア)外国の人々の生活の様子などに着目して、国際交流の果たす役割を考え、表現する。</p> <p>(イ)地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現する。</p>	

教科の目標、見方・考え方（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
中学校 社会 地理的分野 歴史的分野 公民的分野	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関する学習を通して社会的事象に関する概念について理解する。 調査や諸資料から確かな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を，資料や概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力を養う。 思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 自らの考えを批判的に捉え直す力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を見だし，自らの学びを振り返りながら主体的かつ協働的に解決しようとする態度を養う。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の国土及び世界の諸地域に関して，地域の諸事象や地域的特色を理解する。 調査や諸資料から地理に関する確かな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，地域の空間的な広がり，地域の環境，地域間の関係などに着目して，多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力を養う。 思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 自らの考えを批判的に捉え直す力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本や世界の地域に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を見だし，自らの学びを振り返りながら主体的かつ協働的に追究，解決しようとする態度を養う。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。
	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の大きな流れを，世界の歴史を背景に，各時代の特色を踏まえて理解する。 諸資料から歴史に関する確かな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時系列，推移，類似と差異，因果や現在とのつながりなどに着目して，多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力を養う。 思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 自らの考えを批判的に捉え直す力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を見だし，自らの学びを振り返りながら主体的かつ協働的に追究，解決しようとする態度を養う。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情，国民としての自覚，国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深め，国際協調の精神を養う。
	<ul style="list-style-type: none"> 個人の尊厳と人権の尊重の意義，特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し，民主主義，民主政治の意義，国民の生活の向上と経済活動との関わり，現代の社会生活及び国際関係などについて，個人と社会との関わりを中心に理解を深める。 諸資料から現代の社会的事象に関する確かな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり，現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力を養う。 思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 自らの考えを批判的に捉え直す力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の社会的事象について，現代社会に見られる課題を見だし，自らの学びを振り返りながら解決を視野に主体的かつ協働的に社会に関わるようとする態度を養う。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うこの大切さについての自覚などを深める。

見方・考え方

- 【地理】 社会的事象やその言説を，地域の空間的な広がり，地域の環境，地域間のつながりなどに着目して捉え，よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え，根拠に基づき公正に判断すること
- 【歴史】 社会的事象やその言説を，時系列，推移，類似や差異，因果関係や現在とのつながりなどに着目して捉え，よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え，根拠に基づき公正に判断すること
- 【公民】 社会的事象やその言説を，政治，法，経済などに関わる概念や理論などに着目して捉え，よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え，根拠に基づき公正に判断すること

資質・能力の全体構造(素案)

中学校 社会(地理的分野) A 世界と日本の地域構成	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
	統合的な理解	総合的な発揮
	緯度や経度，世界の大陸分布や日本の領域などを対象として，世界と日本の様々な地域を学習するための大まかな地域構成の特色を理解する。	位置や分布などに関わる視点に着目して，世界と日本の空間的な広がりについて，世界や日本の諸事象や様々な地域の特色を学ぶ座標軸である地域構成を大観して，多面的・多角的に考察し，表現することができる。
	内容項目例	
(1)地域構成	(ア)①から③について，世界の地域構成を大まかに捉えて理解する。 ①緯度と経度，②大陸と海洋の分布， ③主な国々の名称と位置 (イ)①から③について，日本の地域構成を大まかに捉えて理解する。 ①我が国の国土の位置，②世界各地との時差， ③領域の範囲や変化とその特色	(ア)世界の地域構成の特色を，大陸と海洋の分布や主な国の位置，緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し，表現する (イ)日本の地域構成の特色を，周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し，表現する

資質・能力の全体構造(素案)

中学校 社会(地理的分野) B世界の様々な地域	(1)世界の各地の人々の生活と環境	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		世界の多様な地域を対象として、世界各地の人々の生活が、自然的及び社会的条件から影響を受けたり、条件に影響を与えたりしながら多様性が生じることを理解する。	人間生活と自然環境との関係や変容などに関わる視点に着目して、世界の多様な地域における人々の生活について、その特色や変容の理由を、自然的及び社会的な影響から多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		内容項目例	
	(ア)人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解する。 (イ)世界の人々の生活や変容による環境の多様性を理解する。その際、世界の主な宗教の分布を理解する。	世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。	
	(2)世界の諸地域	統合的な理解	総合的な発揮
		統合的な理解	総合的な発揮
		世界の各州を対象として、地域内で見られる地球的課題と関連付けながら地域的特色を理解する。	地域間の結び付きやスケール、変容などに関わる視点に着目して、世界の各地域で見られる地球的課題の要因や影響を多面的・多角的に考察したり、地球的課題をその地域的特色や変容の過程と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		内容項目例	
	①アジア ②ヨーロッパ ③アフリカ ④北アメリカ ⑤南アメリカ ⑥オセアニア 上の①から⑥の各州について (ア)世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 (イ)世界の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大まかに捉えて理解する。	①アジア ②ヨーロッパ ③アフリカ ④北アメリカ ⑤南アメリカ ⑥オセアニア 上の①から⑥までの世界の各州において、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、それらの地域的特色と関連付けて大観し、多面的・多角的に考察し、表現する。	

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
中学校 社会(地理的分野) C日本の様々な地域	(1)地域調査の手法	統合的な理解	総合的な発揮
		学校周辺の地域を対象として地形図や主題図の読み取りや作成の技能を活用しながら、地域の特色を明らかにするために地域調査の手法を理解する。	人間生活と自然環境との関係などに関わる視点に着目して、学校周辺の地域について主題を設定し、文献や調査から地理的な事象を見出し、事象同士を関連付けて追究してまとめることを通して、地域調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現することができる。
	内容項目例		
	(ア)観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。 (イ)地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付ける。	地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する。	
(2)日本の地域的特色と地域区分	統合的な理解	総合的な発揮	
	日本を複数の項目について区分することで、区分された特色ある地域から日本が構成されていることや、日本全体の地域的特色を理解する。	位置や分布、人間と自然環境との関係、スケールなどに関わる視点に着目して、複数の項目について日本を地域区分し、区分された地域の共通点や差異、分布から、日本の地域的特色を多面的・多角的に考察し、表現することができる。	
	内容項目例		
①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信の項目を取り上げ、以下の(ア)から(オ)を理解し、(カ)の技能を身に付ける。 (ア)日本の自然環境に関する特色 (イ)日本の人口に関する特色 (ウ)日本の資源・エネルギーと産業に関する特色 (エ)国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色 (オ)(ア)から(エ)までを踏まえた我が国の国土の特色を大まかに捉える (カ)日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能	<ul style="list-style-type: none"> ①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信を取り上げ、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 日本の地域的特色を、①から④の項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 		

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		幾つかに区分した日本の諸地域を対象として、日本の諸地域の地域的特色や課題を理解する。	地域間の結び付きやスケール、変容などの視点に着目して、日本の諸地域における地域の特徴を、適切な事象を取り上げ、他の事象や課題と有機的に関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		内容項目例	
中学校 社会(地理的分野) C日本の様々な地域	(3)日本の諸地域	(ア)幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 (イ)以下の①から⑤までの考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 ① 自然環境を中核とした考察の仕方 ② 人口や都市・村落を中核とした考察の仕方 ③ 産業を中核とした考察の仕方 ④ 交通や通信を中核とした考察の仕方 ⑤ その他の事象を中核とした考察の仕方	日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ① 自然環境を中核とした考察の仕方 ② 人口や都市・村落を中核とした考察の仕方 ③ 産業を中核とした考察の仕方 ④ 交通や通信を中核とした考察の仕方 ⑤ その他の事象を中核とした考察の仕方
		統合的な理解	総合的な発揮
	(4)地域の在り方	分野のまとめとして、適切な地域や課題を取り上げ、持続可能な社会づくりの視点から、課題解決に向けて考察、構想したことを適切に表現する手法を理解する。	地域的な課題解決の取組に関する理解を基に、地域間の結び付きやスケール、変容などの視点に着目して、地域で見られる地理的な課題について、持続可能な社会づくりの視野から、類似の課題が見られる他の地域と比較したり、関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。
		内容項目例	
		(ア)地域の実態や課題解決のための取組を理解する。 (イ)地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法を理解する。	地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
中学校 社会(歴史的分野) A歴史との対話	(1)歴史との対話	過去からの経緯を理解するための情報を獲得する方法や、時間軸で整理する技能を用いて、小学校の学習で扱った人物や出来事が、過去の資料に基づいて記述されていることや、現在の身近な地域の景観や特徴が、歴史的な経緯によって形成されていることを理解する。	時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、歴史と私たちとのつながりなどの視点に着目して、小学校での学習で獲得した知識を時間軸で整理したり、地域などの空間を設定し、根拠を踏まえて現在の景観や特徴につながる過去の事象との関わりや、時代区分との関わりについて整理して考察し、表現することができる。
		内容項目例	
		(ア)(私たちと歴史) ・年代の表し方や時代区分の意味や意義を理解する。 ・資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりする技能を身に付ける。 (イ)(身近な地域の歴史) ・具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付ける。	(ア) ・時代区分や時期区分が多様であることや、基本的な区分について、相互の関係について理解する。 ・時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現する。 (イ)比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		列島周辺地域との関係を背景に、日本列島に国家が形成され、アジア諸地域との関係をもちながら、吸収・再構成しながら政治のしくみが整えられたり、特徴的な文化が育まれたことについて理解する。	時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などの視点に着目して、古代の日本について多面的・多角的に考察し、国家・社会の形成などについて時代の特色を大観して表現することができる。
内容項目例			
中学校 社会(歴史的分野) B 近世までの日本とアジア	(1) 古代までの日本	(ア)(世界の古代文明や宗教のおこり) ・ 次の①及び②などを題材に、世界の各地で文明が築かれたことを理解する。 ①世界の古代文明 ②宗教のおこり	(ア)古代文明や宗教が起こった場所や環境などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこりについて、多面的・多角的に考察し、表現する。
		(イ)(日本列島における国家形成) ・ 次の①及び②などを題材に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解する。 ①日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰 ②大和朝廷(大和政権)による統一の様子と東アジアとの関わり	(イ)農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本列島における国家形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。
		(ウ)(律令国家の形成) ・ 次の①及び②などを題材に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解する。 ①律令国家の確立に至るまでの過程 ②摂関政治	(ウ)東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、律令国家の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。
		(I)(古代の文化と東アジアとの関わり) ・ 次の①及び②などを題材に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解する。 ①仏教の伝来とその影響 ②仮名文字の成立	(I)東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の文化と東アジアとの関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		列島周辺地域との関係やユーラシアの状況を背景に、武家政治が公家や宗教を含めた多様な勢力の中で展開したことや、その中で民衆の成長により形成された社会や多様な文化について理解する。	時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などの視点に着目して、中世の日本について多面的・多角的に考察し、古代との比較などから時代の特色を大観して表現することができる。
内容項目例			
中学校 社会(歴史的分野) B 近世までの日本とアジア	(2)中世 の日本	(ア)(武家政治の成立とユーラシアの交流) <ul style="list-style-type: none"> 次の①及び②などを題材に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まった、また、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 鎌倉幕府の成立 元寇(モンゴル帝国の襲来) 	(ア)武士の政治への進出、東アジアにおける交流などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とユーラシアの交流について、多面的・多角的に考察し、表現する。
		(イ)(武家政治の展開と東アジアの動き) <ul style="list-style-type: none"> 次の①及び②などを題材に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 南北朝の争乱と室町幕府 日明貿易と琉球の国際的な役割 	(イ)武士の政治の展開、東アジアにおける交流などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の展開と東アジアの動きについて、多面的・多角的に考察し、表現する。
		(ウ)(民衆の成長と新たな文化の形成) <ul style="list-style-type: none"> 次の①から④などを題材に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 農業など諸産業の発達 畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立 武士や民衆などの多様な文化の形成 応仁の乱後の社会的な変動 	(ウ)農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、民衆の成長と新たな文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		ヨーロッパの諸勢力との接触や列島周辺地域との関係を背景に、統一政権の形成や、その諸政策によって生み出された安定的なつながりが経済活動や文化の発達を促したことや、その後の国内外の情勢の変化への対応について理解する。	時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などの視点に着目して、近世の日本について多面的・多角的に考察し、中世との比較などから時代の特色を大観して表現することができる。
内容項目例			
中学校 社会(歴史的分野) B 近世までの日本とアジア	(3)近世の日本	(ア)(世界の動きと統一事業) ・ 次の①から③などを題材に、近世社会の基礎がつけられたことを理解する。 ①ヨーロッパ人来航の背景とその影響 ②織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、 ③武将や豪商などの生活文化の展開	(ア)交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、文化の担い手の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと統一事業について、多面的・多角的に考察し、表現する。
		(イ)(江戸幕府の成立と対外関係) ・ 次の①から③などを題材に、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。 ①江戸幕府の成立と大名統制 ②身分制と農村の様子 ③鎖国などの幕府の対外政策と対外関係	(イ)幕府の政策の目的と社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と対外関係について、多面的・多角的に考察し、表現する。
		(ウ)(産業の発達と町人文化) ・ 次の①及び②などを題材に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 ①産業や交通の発達 ②教育の普及と文化の広がり	(ウ)産業の発達と文化の担い手の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、産業の発達と町人文化について、多面的・多角的に考察し、表現する。
		(イ)(幕府の政治の展開) ・ 次の①から③などを題材に、幕府の政治の社会変化への対応を理解する。 ①社会の変動や欧米諸国の接近 ②幕府の政治改革 ③新しい学問・思想の動き	(イ)社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、幕府の政治の展開について、多面的・多角的に考察し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		<p>欧米諸国の動向や近隣の諸地域との関係を背景に、社会や対外的な状況の変化への対応が求められ、新たな制度や文化の導入とそれまでの社会とのつながりの中で、日本の近代国家のしくみや近代的な社会や文化が形成されたことを理解する。</p>	<p>時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目して、近代前半の日本について多面的・多角的に考察し、それ以前との比較などから時代の特色を大観して表現することができる。</p>
内容項目例			
中学校 社会(歴史的分野) C 近現代の日本と世界	(1)近代 (前半)の 日本と世界	<p>(ア)(欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き)</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の①及び②などを題材に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 欧米諸国における産業革命や市民革命 ② アジア諸国の動き 	<p>(ア)工業化の進展と政治や社会の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p>
		<p>(イ)(明治維新と近代国家の形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の①から③などを題材に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 開国とその影響 ② 富国強兵・殖産興業政策 ③ 文明開化の風潮 	<p>(イ)工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、近代化がもたらした文化への影響、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治維新と近代国家の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。</p>
		<p>(ウ)(議会政治の始まりと国際社会との関わり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の①から④などを題材に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 自由民権運動 ② 大日本帝国憲法の制定 ③ 日清・日露戦争 ④ 条約改正 	<p>(ウ)議会政治や外交の展開、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p>
		<p>(エ)(近代産業の発展と近代文化の形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の①から③などを題材に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 我が国の産業革命 ② 近代化と国民生活の変化 ③ 学問・教育・科学・芸術の発展 	<p>(エ)工業化の進展と政治や社会の変化、近代化がもたらした文化への影響、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代産業の発展と近代文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。</p>

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		国際社会の動向や近隣の諸地域との関係を背景に、国際情勢の推移とその対応が政治や社会の変化を促したことや、戦争による惨禍が繰り返された経緯から国際協調の意義について理解する。	時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目して、近代後半の日本について多面的・多角的に考察し、それ以前との比較などから時代の特色を大観して現代の諸課題の解決に向けた手掛かりについて構想し、表現することができる。
内容項目例			
中学校 社会(歴史的分野) C 近現代の日本と世界	(2)近代(後半)の日本と世界	(ア)(第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現) ・ 次の①から③などを題材に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。 ① 第一次世界大戦の背景とその影響 ② 民族運動の高まりと国際協調の動き ③ 我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化	(ア)世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、多面的・多角的に考察し、表現する。
		(イ)(第二次世界大戦と人類への惨禍) ・ 次の①から⑤などを題材に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。 ① 経済の世界的な混乱と社会問題の発生 ② 昭和初期から第二次世界大戦終結までの我が国の政治・外交の動き ③ 中国などアジア諸国との関係 ④ 欧米諸国の動き ⑤ 戦時下の国民の生活	(イ)経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第二次世界大戦と人類への惨禍について、多面的・多角的に考察し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		世界の動向を背景に、冷戦下の日本の政治や経済の動きと社会の形成、冷戦後の国際社会との関係について理解するとともに、それらと現在の社会とのつながりについて理解する。	時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながり、歴史と私たちとのつながりなどの視点に着目して、第二次世界大戦後の日本について多面的・多角的に考察し、それ以前との比較などから時代の特色を大観して現在と未来の日本や世界の在り方について構想し、表現することができる。
		内容項目例	
中学校 社会（歴史的分野） C 近現代の日本と世界	(3)現代の日本と世界	(ア) (日本の民主化と冷戦下の国際社会) ・ 次の①から③などを題材に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解する。 ① 冷戦 ② 我が国の民主化と再建の過程 ③ 国際社会への復帰	(ア) 諸改革の展開と国際社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の民主化と冷戦下の国際社会について、多面的・多角的に考察し、表現する。
		(イ) (日本の経済の発展とグローバル化する世界) ・ 次の①及び②などを題材に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解する。 ① 高度経済成長と国際社会との関わり ② 冷戦の終結とグローバル化する世界とその中の日本	(イ) 政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の経済の発展とグローバル化する世界について、多面的・多角的に考察し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

中学校 社会(公民的分野) A 私たちと現代社会	(1) 私たちが生きる現代社会と文化の特色	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		位置や空間的広がり、持続可能性、推移や変化などの視点に基づき、現代日本の社会を特色付ける課題について、グローバル化や文化の意義及び影響と関連付けて理解する。	位置や空間的広がり、持続可能性、推移や変化などの視点に着目して、現代社会に見られる課題が将来の政治、経済、文化、国際関係に与える影響について、具体的な事例を挙げて、考察し、表現する。
		内容項目例	
		(ア)現代日本の特色として情報化、グローバル化、少子高齢化に伴う影響や課題などが見られること (イ)現代社会における文化の意義や影響	位置や空間的広がり、持続可能性、推移や変化などに着目して、 ・ 情報化、グローバル化、少子高齢化に伴う影響や課題などが現在と将来の私たちの生活に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現する ・ 文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現する
		統合的な理解	総合的な発揮
(2) 現代社会を捉える枠組み	統合的な理解	総合的な発揮	
	個人の尊厳と両性の本質的平等を基礎とする現代社会を捉える基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などを理解した上で、合意を定めるきまり・契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任を理解する。	対立と合意、効率と公正などの現代社会を捉える基礎となる枠組みに着目して、望ましい合意の在り方や合意を実現するために必要な事柄などについて、具体的な事例を挙げて、考察し、表現する。	
	内容項目例		
	(ア)人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等 (イ)現代社会の見方や考え方の基礎となる枠組みとしての対立と合意、効率と公正 (ウ)契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任	対立と合意、効率と公正などに着目して、 ・ 社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現する	

※概念的な枠組みは一人一人異なっていることに留意する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
中学校 社会(公民的分野) B 私たちと経済	(1) 市場の働きと経済	統合的な理解 分業と交換などの現代社会を捉える概念的な枠組みに基づき、経済に関する仕組みと身近な経済活動に見られる諸事象を結び付けた、経済活動の意義について理解した上で、それと関連付けて、市場の働きと経済を理解する。	総合的な発揮 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性、誠実性などの現代社会を捉える概念的な枠組みに着目して、より活発な経済活動と個人の尊重を両立させることが重要であることを踏まえた、豊かな経済活動の実現とその方法について、具体的な事例を挙げて、考察し、表現する。
		内容項目例 (ア) 身近な消費生活を中心に経済活動の意義 (イ) 市場における価格の決め方や資源の配分などを含めた、市場経済の基本的な考え方 (ウ) 現代の生産や金融などの仕組みや働き (エ) 勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性、誠実性などに着目して、 ・ 個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現する ・ 社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現する
	(2) 国民の生活と政府の役割	統合的な理解 分業と交換などの現代社会を捉える概念的な枠組みに基づき、国や地方公共団体の財政に関する仕組みとそれらの意義などについて理解した上で、それと関連付けて、すべての経済主体が連携・協働を図ることの意味を理解する。	総合的な発揮 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性、誠実性などの現代社会を捉える概念的な枠組みに着目して、すべての経済主体が連携・協働を図ることが効果的であることを踏まえた、現代社会に見られる課題の解決とその方法について、具体的な事例を挙げて、考察、構想し、表現する。
		内容項目例 (ア) 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、人口減少社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義 (イ) 財政及び租税の意義、国民の納税の義務 (ウ) 現代社会に見られる課題に関わる諸資料から、社会に参画する主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能	対立と合意、効率と公正、希少性、誠実性、分業と交換などに着目して、国や地方公共団体の財政に関する役割を踏まえて、社会に参画する主体としての自覚の基礎を育成することに向けて、 ・ 市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する ・ 財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現する

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
中学校 社会公民的分野 C 私たちと政治	(1)人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	統合的な理解	総合的な発揮
		個人の尊重などの現代社会を捉える概念的な枠組みに基づき、個人が尊重され協働の利益が確保される国家・社会を形成するために憲法が果たす意義について理解した上で、それと関連付けて、日本国憲法の基本原則を理解する。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などの現代社会を捉える概念的な枠組みに着目して、現代社会の課題を解決するために、憲法に基づいて政治が行われることや日本国憲法の基本原則が果たす意義について、具体的な事例を挙げて、考察し、表現する。
	内容項目例		
	(ア)人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義 (イ)民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であること (ウ)日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原則としていること (エ)日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、 ・我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現する	
(2)民主政治と政治参加	統合的な理解	総合的な発揮	
	個人の尊重などの現代社会を捉える概念的な枠組みに基づき、国民の政治参加の意義について理解した上で、それと関連付けて、地方自治や我が国の民主政治の考え方を理解する。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などの現代社会を捉える概念的な枠組みに着目して、社会に参画する主体として、地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚などを育成することに向けて、政治参加に関する具体的な課題を挙げて、望ましい政治参加の在り方について考察、構想し、表現する。	
内容項目例			
	(ア)国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割 (イ)議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方 (ウ)国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があること (エ)地方自治の基本的な考え方について理解すること。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務 (オ)現代社会に見られる課題に関わる諸資料から、社会に参画する主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、社会に参画する主体として、地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚や住民としての自治意識の基礎を育成することに向けて、 ・民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現する	

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
中学校 社会(公民的分野) D 私たちと国際社会の諸課題	(1)世界平和と人類の福祉の増大	統合的な理解	総合的な発揮
		持続可能性などの現代社会を捉える概念的な枠組みに基づき、国際社会に関する基本的な事項、国際社会の現状などについて理解した上で、それと関連付けて、世界平和の実現と人類の福祉の増大に向けて、地球規模の諸課題の解決のために国際協調や協力などが大切であることを個人と社会の関わりを中心に理解を深める。	対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などの現代社会を捉える概念的な枠組みに着目して，主体的に社会に関わることを向けて，世界平和のために私たちにできることについて，考察，構想したことを説明したり，それらをもとに議論したりする。
	内容項目例		
	(ア)世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構や国際法などの役割が大切であること (イ)領土(領海，領空を含む。)，国家主権，国際連合をはじめとする国際機構，国際法など基本的な事項 (ウ)地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であること (エ)国際社会に見られる課題に関わる諸資料から，社会に参画する主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能	対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などのに着目して，国際社会に参画する主体としての自覚の基礎を育成することに向けて， ・日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現する。	
(2)よりよい社会を目指して	統合的な理解	総合的な発揮	
		社会的な視点や方法等を用いて，現代の社会的な事象から課題を見だし，社会参画を視野に入れながら，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，考察，構想し，自分の考えを説明，論述することを通して，私たちがよりよい社会を築いていくために考え続けていく新たな問いを見いだす。	
内容項目例			
		持続可能な社会を形成することに向けて，社会的な視点や方法等を用いて， ・私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について，社会参画を視野に入れながら，多面的・多角的に考察，構想し，自分の考えを説明，論述する。	

※概念的な枠組みは一人一人異なっていることに留意する。

教科の目標、見方・考え方（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
高等学校	地理歴史	<ul style="list-style-type: none"> 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、資料や概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力を養う。 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 自らの考えを批判的に捉え直す力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を見だし、自らの学びを振り返りながら主体的かつ協働的に解決しようとする態度を養う。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 	
	地理総合	<ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から収集した地理に関する情報について、その妥当性を吟味しながら調べまとめる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を見だし、自らの学びを振り返りながら主体的かつ協働的に追究、解決しようとする態度を養う。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。 	
	地理探究	<ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から収集した地理に関する情報について、その妥当性を吟味しながら調べまとめる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を、地域の空間的な広がり、地域の環境、地域間の関係などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力を養う。 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 自らの考えを批判的に捉え直す力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を見だし、自らの学びを振り返りながら主体的かつ協働的に探究しようとする態度を養う。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。
	歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 諸資料から収集した歴史に関する情報について、その妥当性を吟味しながら調べまとめる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時系列、推移、類似と差異、因果や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 自らの考えを批判的に捉え直す力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を見だし、自らの学びを振り返りながら主体的かつ協働的に追究、解決しようとする態度を養う。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
	日本史探究	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解する。 諸資料から収集した我が国の歴史に関する情報について、その妥当性を吟味しながら調べまとめる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時系列、推移、類似と差異、因果や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 自らの考えを批判的に捉え直す力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を見だし、自らの学びを振り返りながら主体的かつ協働的に探究しようとする態度を養う。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
世界史探究	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。 諸資料から収集した世界の歴史に関する情報について、その妥当性を吟味しながら調べまとめる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時系列、推移、類似と差異、因果や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 自らの考えを批判的に捉え直す力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を見だし、自らの学びを振り返りながら主体的かつ協働的に探究しようとする態度を養う。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 	

見方・考え方

- 【地理総合・地理探究】
- 社会的な事象やその言説を、地域の空間的な広がり、地域の環境、地域間のつながりなどに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること
- 【歴史総合、日本史探究、世界史探究】
- 社会的な事象やその言説を、時系列、推移、類似や差異、因果関係や現在とのつながりなどに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		<p>様々な目的や場面で役立つ地図や地理情報システム（GIS）を活用して、現代世界の地域構成の特色や国内や国家間の結び付きを理解する。</p>	<p>位置や分布などに関わる視点に着目して、地図や地理情報システム（GIS）などに関わる地理的技能を活用して、現代世界の地域構成や地図やGISの役割や活用の仕方を多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p>
		内容項目例	
<p>高等学校</p> <p>地理総合</p> <p>A 地図や地理情報システムで捉える現代世界</p>	<p>(1) 地図や地理情報システムと現代世界</p>	<p>(ア) 現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、以下の①から③について理解する。</p> <p>① 時位や時差, ② 日本の位置と領域, ③ 国内や国家間の結び付きなど。</p> <p>(イ) 日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などを理解する。</p> <p>(ウ) 現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。</p>	<p>(ア) 位置や範囲などに着目して、現代世界の地域構成について、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>(イ) 位置や範囲、縮尺などに着目して地図や地理情報システムについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p>

資質・能力の全体構造(素案)

高等学校 地理総合 B 国際理解と国際協力	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
	統合的な理解	総合的な発揮
	世界の多様な生活文化を対象として、世界の人々の生活文化が、自然及び社会的環境から影響を受けたり、環境に影響を与えたりしながら多様性が生じたり変容したりするかを理解するとともに、グローバル化の進展による自他の文化の尊重と国際理解の重要性を理解する。	人間生活と自然環境との関係や地域間の結び付き、変容などに関わる視点に着目して、世界各地における人々の衣食住を中心とする生活文化や、慣習や規範、宗教などの生活様式について、自然及び社会的環境の影響による多様性と変容を、多面的・多角的に考察し、表現することができる。
	内容項目例	
	(ア)世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどを理解する (イ)世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などを理解する。	(ア)世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。
(2)地球 的課題と 国際協力	統合的な理解	総合的な発揮
	統合的な理解	総合的な発揮
	世界各地でみられる様々な地球的課題を対象として、現状や要因、解決の方向性や、課題相互の関連性を捉え、持続可能な社会の実現に向けた各国の取組や、国際協力の必要性を理解する。	地域間の結び付きやスケール、変容などに関わる視点に着目して、世界各地で見られる様々な地球的課題について、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
	内容項目例	
	(ア)世界各地で見られる以下の①～④の地球的課題の、各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大まかに捉えて理解する。 (イ)世界各地で見られる以下の①～④の地球的課題の解決には、持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることを理解する。 ①地球環境問題、②資源・エネルギー問題、 ③人口・食料問題、④居住・都市問題	(ア)世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現すること。

資質・能力の全体構造(素案)

高等学校 地理総合 C 持続可能な地域づくりと私たち		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
	(1)自然環境と防災	地形図やハザードマップなどを活用して、自然環境の特色と自然災害の関係性、地域性を踏まえた災害の備えや対応について理解するとともに、防災の重要性について理解する。	人間生活と自然環境との関係や変容などに関わる視点に着目して、ハザードマップなどに関わる地理的技能を活用し、自然及び社会条件との関わりなど地域性を踏まえた防災について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		内容項目例	
(2)生活圏の調査と地域の展望	統合的な理解	総合的な発揮	
	科目のまとめとして、持続可能な地域づくりを目指した生活圏の調査を踏まえ、地理的な課題の解決に向けた様々な立場からの取組や探究する手法を理解する。	持続可能な地域づくりに関する課題解決の取組の理解を基に、地域間の結び付きやスケール、変容などに関わる視点に着目して、生活圏の地理的な課題や課題解決に求められる取組を、多面的・多角的に考察、構想、表現し、よりよい社会の実現を展望することができる。	
		内容項目例	
		(ア)生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解する。	(ア)生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現する

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
高等学校 地理探究 A 現代世界の系統地理的考察	(1)自然環境	統合的な理解	総合的な発揮
		地形、気候、生態系などの自然環境に関わる諸事象を対象として、空間的な規則性や傾向性を理解するとともに、関連する地球的課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	人間生活と自然環境との関係やスケールなどに関わる視点に着目して、地形、気候、生態系などの自然環境に関わる諸事象について、空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを考察し、表現することができる。
	内容項目例		
	(ア)以下の①～③の事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などを理解する。 ①地形 ②気候 ③生態系など	(ア)場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。	
(2)資源、産業		統合的な理解	総合的な発揮
		資源・エネルギー、農業、工業などの資源、産業に関わる諸事象を対象として、空間的な規則性や傾向性を理解するとともに、関連する地球的課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	人間生活と自然環境との関係や地域間の結び付きなどに関わる視点に着目して、資源・エネルギー、農業、工業などの資源、産業に関わる諸事象について、空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを考察し、表現することができる。
	内容項目例		
	(ア)以下の①～③の事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などを理解する。 ①資源・エネルギー ②農業 ③工業など	(ア)資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。	

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
A 現代世界の系統地理的考察 地理探究 高等学校	(3)交通・通信, 観光	交通・通信網と物流, 人の移動に関する運輸, 観光などに関わる諸事象を対象として, 空間的な規則性や傾向性を理解するとともに, 関連する地球的課題の現状や要因, 解決に向けた取組などについて理解する。	人間生活と自然環境との関係や地域間の結び付きなどに関わる視点に着目して, 交通・通信網と物流, 人の移動に関する運輸, 観光などに関わる諸事象について, 空間的な規則性, 傾向性や, 関連する地球的課題の要因や動向などを考察し, 表現することができる。
		内容項目例	
	(ア)以下の①及び②の事象の空間的な規則性, 傾向性や, 交通・通信, 観光に関わる問題の現状や要因, 解決に向けた取組などを理解する。 ①交通・通信網と物流 ②人の移動に関する運輸, 観光などに関わる諸事象	(ア)交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸, 観光などに関わる諸事象について, 場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し, 表現する。	
	(4)人口, 都市・村落		統合的な理解
		人口, 都市・村落などに関わる諸事象を対象として, 空間的な規則性や傾向性を理解するとともに, 関連する地球的課題の現状や要因, 解決に向けた取組などについて理解する。	人間生活と自然環境との関係や地域間の結び付きなどに関わる視点に着目して, 人口, 都市・村落などに関わる諸事象について, 空間的な規則性, 傾向性や, 関連する地球的課題の要因や動向などを考察し, 表現することができる。
		内容項目例	
		(ア)以下の①及び②の事象の空間的な規則性, 傾向性や, 人口, 居住・都市問題の現状や要因, 解決に向けた取組などを理解する。 ①人口, ②都市・村落など	(ア)人口, 都市・村落などに関わる諸事象について, 場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し, 表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

			知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
			統合的な理解	統合的な発揮
高等学校 地理探究 A 現代世界の系統地理的考察	(5)生活文化、民族・宗教		生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象を対象として，空間的な規則性や傾向性を理解するとともに，関連する地球的課題の現状や要因，解決に向けた取組などについて理解する。	人間生活と自然環境との関係や地域間の結び付きなどに関わる視点に着目して，生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを考察し，表現することができる。
			内容項目例	
		(ア)以下の①及び②の事象の空間的な規則性，傾向性や，民族，領土問題の現状や要因，解決に向けた取組などを理解する。 ①生活文化 ②民族・宗教など	(ア)生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現する。	

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
高等学校 地理探究 B 現代世界の地誌的考察	(1)現代世界の地域区分	統合的な理解	総合的な発揮
		世界の諸地域は、目的による様々な指標で地域区分することが可能であることを理解し、地域には多様な側面やスケールがあるという地域の概念や現代世界の多様性を理解する。	位置や分布、地域間の結び付き、スケールなどに関わる視点に着目して、世界や世界の諸地域について、目的による複数の指標に基づいて地域区分された分布図を比較し、区分された地域の共通点や差異、分布から、地域の捉え方を多面的・多角的に考察し、表現することができる。
	内容項目例		
	(ア)世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料を基に、以下の①から③などについて理解する。 ①世界を幾つかの地域に区分する方法、②地域の概念、③地域区分の意義など。 (イ)世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身に付ける。	(ア)世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、地域の捉え方などを多面的・多角的に考察し、表現する。	
(2)現代世界の諸地域	統合的な理解	総合的な発揮	
	地域区分した世界の諸地域を対象として、世界の諸地域の地域的特色や地球的課題、地域間の結び付き、地域の構造や変容を理解する。	地域間の結び付きやスケール、変容などに関わる視点に着目して、現代世界の諸地域について、世界の諸地域や地球的課題を多面的・多角的に考察し、表現することができる。	
内容項目例			
(ア)幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、以下の①及び②などについて理解する。 ①諸地域に見られる地域的特色 ②地球的課題など (イ)幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、地域の結び付き、構造や変容などを地誌的に考察する方法などを理解する。	(ア)現代世界の諸地域について、地域の結び付き、構造や変容などに着目して、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現する。		

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
高等学校 地理探究 C 現代世界におけるこれからの日本の国土像	(1) 持続可能な国土像の探究	統合的な理解	総合的な発揮
		科目のまとめとして、日本の地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方の構想を通して、持続可能な国土像の在り方を探究する手法の重要性とその手法について理解する。	持続可能な国土像に関する課題解決の取組の理解を基に、地域間の結び付きやスケール、変容などに関わる視点に着目して、これからの日本の国土像について、地理的な課題の解決に向けた取組を考察・構想し、よりよい社会の実現を展望することができる。
		内容項目例	
		(ア)現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究を基に、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などを理解する。	(ア)現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	
		統合的な理解	総合的な発揮	
		現在に生きる私たちに関わる諸事象と日本や世界の歴史とのつながりを理解するとともに、過去の事象について探る手がかりとなる材料である資料を考察するには、批判的な読み取りと吟味が重要であることを理解する。	諸資料を効果的に活用して、時系列、展開や変化、類似や差異、背景や原因、結果や影響、相互の関連や現在とのつながりなどの視点に着目し、身近な生活や地域にみられる諸事象と歴史とのつながりや資料と歴史の叙述の関わりを考察し、表現することができる。	
		内容項目例（1）歴史と私たち		
高等学校	歴史総合	A 歴史の扉	<p>(ア) 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とのつながりを理解する。</p> <p><今後、学習対象の具体例を挙げる必要がある></p>	<p>(ア) 諸資料を活用し、近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。</p>
			内容項目例（2）歴史の特質と資料	
		<p>(ア) 資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。</p> <p><今後、学習対象の具体例を挙げる必要がある></p>	<p>(ア) 日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料を活用し、複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。</p>	

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		資料から収集し読み取った情報を基に、産業社会と国民国家の形成により生活や社会に生じた変化、それらの変化と現代的な諸課題との関係について理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目し、現代的な諸課題を歴史的に捉えるための枠組みを活用して近代化の歴史に存在し現代においても調整が求められる課題について多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		内容項目例（1）近代化への問い	
高等学校 歴史総合 B 近代化と私たち		(ア) 次の①から⑥に関する資料などを選択して活用し、資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ①交通と貿易 ②産業と人口 ③権利意識と政治参加や国民の義務 ④学校教育 ⑤労働と家族 ⑥移民	(ア) ①から⑥などに関する資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。
	内容項目例（2）結び付く世界と日本の開国		
		(ア) 次の①及び②などを題材に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ①18世紀のアジアや日本における生産と流通 ②アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易 (イ) 次の①及び②などを題材に、工業化と世界市場の形成を理解する。 ①産業革命と交通・通信手段の革新 ②中国の開港と日本の開国	(ア) 諸資料を活用して、18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、(1)で表現した問いを踏まえ、18世紀のアジアの経済と社会に関する主題について、アジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 (イ) 諸資料を活用して、産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、(1)で表現した問いを踏まえ、工業化と世界市場の形成に関する主題について、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
高等学校 歴史総合	B 近代化と私たち	統合的な理解	総合的な発揮
		資料から収集し読み取った情報を基に、産業社会と国民国家の形成により生活や社会に生じた変化、それらの変化と現代的な諸課題との関係について理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目し、現代的な諸課題を歴史的に捉えるための枠組みを活用して近代化の歴史に存在し現代においても調整が求められる課題について多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		内容項目例（1）近代化への問い	
		(ア) 次の①及び②などを題材に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ① 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向 ② 日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定 (イ) 次の①及び②などを題材に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 ① 列強の進出と植民地の形成 ② 日清・日露戦争	(ア) 諸資料を活用して、国民国家の形成の背景や影響などに着目して、(1)で表現した問いを踏まえ、立憲体制と国民国家の形成に関する主題について、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 (イ) 諸資料を活用して、帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、(1)で表現した問いを踏まえ、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容に関する主題について、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。
内容項目例（2）結び付く世界と日本の開国			
		(ア) 内容のA及びBの(1)から(3)までの学習などを基に、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	(ア) 諸資料を活用して、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点(現代的な諸課題を歴史的に捉えるための枠組み)から設定された主題について、多面的・多角的に考察し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		資料から収集し読み取った情報を基に、国際的な結び付きの強まりによる国家間の関係性の変化や、個人や集団の社会参加の拡大により生活や社会に生じた変化、それらの変化と現代的な諸課題との関係について理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目し、現代的な諸課題を歴史的に捉えるための枠組みを活用して国際秩序の変化や大衆化の歴史に存在し現代においても調整が求められる課題を多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		内容項目例（１）国際秩序の変化や大衆化への問い	
高等学校 歴史総合	C 国際秩序の変化や大衆化と私たち	(ア) 次の①から⑤などに関する資料などを選択して活用し、資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ①国際関係の緊密化 ②アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭 ③植民地の独立 ④大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 ⑤生活様式の変化	(ア) ①から⑤などに関する資料を活用し、国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。
		内容項目例（２）第一次世界大戦と大衆社会	
		(ア) 次の①から④などを題材に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ①第一次世界大戦の展開 ②日本やアジアの経済成長 ③ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭 ④ナショナリズムの動向と国際連盟の成立 (イ) 次の①から④などを題材に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 ①大衆の政治参加と女性の地位向上 ②大正デモクラシーと政党政治 ③大量消費社会と大衆文化 ④教育の普及とマスメディアの発達	(ア) 諸資料を活用して、第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、(1)で表現した問いを踏まえ、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制に関する主題について、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 (イ) 諸資料を活用して、第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、(1)で表現した問いを踏まえ、大衆社会の形成と社会運動の広がりに関する主題について、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
高等学校 歴史総合 C 国際秩序の変化や大衆化と私たち		資料から収集し読み取った情報を基に、国際的な結び付きの強まりによる国家間の関係性の変化や、個人や集団の社会参加の拡大により生活や社会に生じた変化、それらの変化と現代的な諸課題との関係について理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目し、現代的な諸課題を歴史的に捉えるための枠組みを活用して国際秩序の変化や大衆化の歴史に存在し現代においても調整が求められる課題を多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		内容項目例（3） 経済危機と第二次世界大戦	
		(ア) 次の①から③などを題材に、国際協調との動揺を理解する。 ① 世界恐慌 ② ファシズムの伸張 ③ 日本の対外政策 (イ) 次の①から④などを題材に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本国際社会への復帰を理解する。 ① 第二次世界大戦の展開 ② 国際連合と国際経済体制 ③ 冷戦の始まりとアジア諸国の動向 ④ 戦後改革と日本国憲法の制定 ⑤ 平和条約と日本の独立の回復	(ア) 諸資料を活用して、経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、(1)で表現した問いを踏まえ、国際協調体制の動揺に関する主題について、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 (イ) 諸資料を活用して、第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、(1)で表現した問いを踏まえ、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰に関する主題について、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。
		内容項目例（4） 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	
		(ア) 内容のA及びCの(1)から(3)までの学習などを基に、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	(ア) 諸資料を活用して、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点(現代的な諸課題を歴史的に捉えるための枠組み)から設定された主題について、多面的・多角的に考察し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		資料から収集し読み取った情報を基に、科学技術の革新を背景に人・商品・資本・情報等が国境を越えて一層流動するようになったことにより生活や社会に生じた変化について理解するとともに、現代的な諸課題の形成と近現代の歴史とのつながりについて理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目し、現代的な諸課題を歴史的に捉えるための枠組みを活用して近現代の歴史に存在し現代においても調整が求められる課題を多面的・多角的に考察したことを基に、よりよい社会の実現に向けた展望を構想し、表現することができる。
		内容項目例（1）グローバル化への問い	
D グローバル化と私たち	歴史総合	(ア) 次の①から⑦などに関する資料などを選択して活用し、資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ① 冷戦と国際関係 ② 人と資本の移動 ③ 高度情報通信 ④ 食料と人口 ⑤ 資源・エネルギーと地球環境 ⑥ 感染症 ⑦ 多様な人々の共存	(ア) ①から⑦などに関する資料を活用し、グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。
		内容項目例（2）冷戦と世界経済	
		(ア) 次の①から④などを題材に、国際政治の変容を理解する。 ① 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国 ② 冷戦下の地域紛争 ③ 先進国の政治の動向 ④ 軍備拡張や核兵器の管理	(ア) 諸資料を活用して、地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、(1)で表現した問いを踏まえ、国際政治の変容に関する主題について、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。
		(イ) 次の①から③などを題材に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 ① 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携 ② 計画経済とその波及 ③ 日本の高度経済成長	(イ) 諸資料を活用して、冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、(1)で表現した問いを踏まえ、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会に関する主題について、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		資料から収集し読み取った情報を基に、科学技術の革新を背景に人・商品・資本・情報等が国境を越えて一層流動するようになったことにより生活や社会に生じた変化について理解するとともに、現代的な諸課題の形成と近現代の歴史とのつながりについて理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目し、現代的な諸課題を歴史的に捉えるための枠組みを活用して近現代の歴史に存在し現代においても調整が求められる課題を多面的・多角的に考察したことを基に、よりよい社会の実現に向けた展望を構想し、表現することができる。
		内容項目例（3）世界秩序の変容と日本	
D グローバル化と私たち	歴史総合	(ア) 次の①から④などを題材に、市場経済の変容と課題を理解する。 ①石油危機 ②アジアの諸地域の経済発展 ③市場開放と経済の自由化 ④情報通信技術の発展	(ア) 諸資料を活用して、アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、(1)で表現した問いを踏まえ、市場経済の変容と課題に関する主題について、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。
		(イ) 次の①から④などを題材に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 ①冷戦の終結 ②民主化の進展 ③地域統合の拡大と変容 ④地域紛争の拡散とそれへの対応	(イ) 諸資料を活用して、冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、(1)で表現した問いを踏まえ、冷戦終結後の国際政治の変容と課題に関する主題について、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。
		内容項目例（4）冷戦と世界経済	
		(ア) これまでのこの科目の学習などを基に、歴史的経緯を踏まえた現代的な諸課題を理解する。	(ア) 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、持続可能な社会の実現を視野に入れ、主題を設定し、諸資料を活用し探究する活動を通して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望して、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		資料から情報を収集し読み取った情報を基に、根拠に基づき見いだした歴史の転換や画期を踏まえ、環境への適応と文化の形成、列島近隣地域との交流との関係など、各自が形成した観点から古代の政治や社会と文化の特色を理解する。	多様な資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などの視点に着目し、古代の政治や社会と文化の特色についての仮説を踏まえた主題を設定して多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。
		内容項目例 (1) 黎明期の日本列島と歴史的環境	
A 原始・古代の日本と東アジア	日本史探究	(ア) 次の①及び②などを題材に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する ①旧石器文化から縄文文化への変化 ②弥生文化の成立	(ア) 諸資料を活用し、自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。 (イ) 黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。
	内容項目例 (2) 歴史資料と原始・古代の展望		
	(ア) 原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、歴史資料の特性を踏まえて歴史に関わる情報を収集し、読み取りまとめる技能を身に付ける。	(ア) (1) で表現した時代を通観する問いを踏まえ、資料を通して読み取れる情報から原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。	
		内容項目例 (3) 古代の国家・社会の展開と画期(歴史の解釈, 説明, 論述)	
A 原始・古代の日本と東アジア	日本史探究	(ア) 次の①及び②などを題材に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。 ①国家の形成と古墳文化 ②律令体制の成立過程と諸文化の形成	(ア) 諸資料を活用し、中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、(2) で表現した仮説を踏まえて主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 (イ) 諸資料を活用し、地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、(2) で表現した仮説を踏まえ主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。
	(イ) 次の①から③などを題材に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。 ①貴族政治の展開 ②平安期の文化 ③地方支配の変化や武士の出現		

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		資料から情報を収集し読み取った情報を基に、根拠に基づき見いだした歴史の転換や画期を踏まえ、複層的な政治的権力や権威、多様な社会集団の成長とその文化との関わりなど、各自が形成した観点から中世の政治や社会と文化の特色を理解する。	多様な資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などの視点に着目し、中世の政治や社会と文化の特色についての仮説を踏まえた主題を設定して多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。
		内容項目例 (1) 中世への転換と歴史的環境	
		(ア) 次の①及び②などを題材に、古代から中世への時代の転換を理解する。 ① 貴族政治の変容と武士の政治進出 ② 土地支配の変容	(ア) 諸資料を活用し、権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 (イ) 時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。
		内容項目例 (2) 歴史資料と中世の展望	
		(ア) 中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。	(ア) (1) で表現した時代を通観する問いを踏まえ、資料を通して読み取れる情報から中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する
		内容項目例 (3) 中世の国家・社会の展開と画期(歴史の解釈, 説明, 論述)	
		(ア) 次の①から③などを題材に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解する。 ① 武家政権の成立と展開 ② 産業の発達 ③ 宗教や文化の展開 (イ) 次の①から④などを題材に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 ① 武家政権の変容 ② 日明貿易の展開と琉球王国の成立 ③ 村落や都市の自立 ④ 多様な文化の形成や融合	(ア) 諸資料を活用し、公武関係の変化、宋・元(モンゴル帝国)などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、(2) で表現した仮説を踏まえ主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 (イ) 諸資料を活用し、社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、(2) で表現した仮説を踏まえ主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。

高等学校

日本史探究

B 中世の日本と世界

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
高等学校 日本史探究 C 近世の日本と世界		統合的な理解	総合的な発揮
		資料から情報を収集し読み取った情報を基に、根拠に基づき見いだした歴史の転換や画期を踏まえ、統一的な政治権力や広域の情報・流通のネットワークの形成や継続による社会変化に伴う文化の変容など、各自が形成した観点から近世の政治や社会と文化の特色を理解する。	多様な資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などの視点に着目し、近世の政治や社会と文化の特色についての仮説を踏まえた主題を設定して多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。
		内容項目例（1）近代への転換と歴史的環境	
		(ア) 次の①及び②などを題材に、中世から近世への時代の転換を理解する。 ① 織豊政権の政治・経済政策 ② 貿易や対外関係	(ア) 諸資料を活用し、村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 (イ) 時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。
	内容項目例（2）歴史資料と近代の展望		
	(ア) 近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。	(ア) (1) で表現した時代を通観する問いを踏まえ、資料を通して読み取れる情報から近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する	
	内容項目例（3）近世の国家・社会の展開と画期(歴史の解釈, 説明, 論述)		
	(ア) 次の①から④などを題材に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解する。 ① 法や制度による支配秩序の形成と身分制 ② 貿易の統制と対外関係 ③ 技術の向上と開発の進展 ④ 学問・文化の発展 (イ) 次の①から⑤などを題材に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 ① 産業の発達 ② 飢饉や一揆の発生 ③ 幕府政治の動揺と諸藩の動向 ④ 学問・思想の展開 ⑤ 庶民の生活と文化	(ア) 諸資料を活用し、織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、(2) で表現した仮説を踏まえ主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 (イ) 諸資料を活用し、社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、(2) で表現した仮説を踏まえ主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。	

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		総合的な理解	総合的な発揮
		<ul style="list-style-type: none"> 資料から情報を収集し読み取った情報を基に、近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの近現代の歴史の変化を踏まえ、地域社会及び日本と世界の関係、現在の社会の構造などとのつながりなど、各自が形成した観点から近現代の政治や社会と文化の特色を理解する。 現代の日本の課題を歴史的な経緯から理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目し、近現代の政治や社会と文化の特色についての仮説を踏まえた主題を設定して多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。 事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して、我が国の近現代を通じた歴史の画期を見だし、根拠を示して表現することができる。 現代の日本の課題の形成に関わる歴史について考察、構想し表現することができる。
		内容項目例（1）近代への転換と歴史的環境	
高等学校 日本史探究 D 近現代の地域・日本と世界		(ア) 次の①及び②などを題材に、近世から近代への時代の転換を理解する。 ① 対外政策の変容と開国 ② 幕藩体制の崩壊と新政権の成立	(ア) 諸資料を活用し、欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 (イ) 時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。
	内容項目例（2）歴史資料と近代の展望		

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		<ul style="list-style-type: none"> 資料から情報を収集し読み取った情報を基に、近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの近現代の歴史の変化を踏まえ、地域社会及び日本と世界の関係、現在の社会の構造などとのつながりなど、各自が形成した観点から近現代の政治や社会と文化の特色を理解する。 現代の日本の課題を歴史的な経緯から理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目し、近現代の政治や社会と文化の特色についての仮説を踏まえた主題を設定して多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。 事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して、我が国の近現代を通した歴史の画期を見だし、根拠を示して表現することができる。 現代の日本の課題の形成に関わる歴史について考察、構想し表現することができる。
内容項目例			
高等学校 日本史探究 D 近現代の地域・日本と世界	(3) 近現代の地域・日本と世界の画期と構造	(ア) 次の①から⑧などを題材に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 ① 明治維新 ② 自由民権運動 ③ 大日本帝国憲法の制定 ④ 条約改正 ⑤ 日清・日露戦争 ⑥ 第一次世界大戦 ⑦ 社会運動の動向 ⑧ 政党政治	(ア) 諸資料を活用し、アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、(2)で表現した仮説を踏まえ主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 <(ア)と(イ)は今後、統合整理が必要>
		(イ) 次の①から⑤などを題材に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解する。 ① 文明開化の風潮 ② 産業革命の展開 ③ 交通の整備と産業構造の変容 ④ 学問の発展や教育制度の拡充 ⑤ 社会問題の発生	(イ) 諸資料を活用し、欧米の思想・文化の影響、産業の発展の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、(2)で表現した仮説を踏まえて主題を設定し、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 <(ア)と(イ)は今後、統合整理が必要>

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		<ul style="list-style-type: none"> 資料から情報を収集し読み取った情報を基に、近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの近現代の歴史の変化を踏まえ、地域社会及び日本と世界の関係、現在の社会の構造などのつながりなど、各自が形成した観点から近現代の政治や社会と文化の特色を理解する。 現代の日本の課題を歴史的な経緯から理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目し、近現代の政治や社会と文化の特色についての仮説を踏まえた主題を設定して多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。 事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して、我が国の近現代を通した歴史の画期を見だし、根拠を示して表現することができる。 現代の日本の課題の形成に関わる歴史について考察、構想し表現することができる。
内容項目例			
D 近現代の地域・日本と世界 日本史探究 高等学校	(3) 近現代の地域・日本と世界の画期と構造	(ウ) 次の①から③などを題材に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。 ① 恐慌と国際関係 ② 軍部の台頭と対外政策 ③ 戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開	(ウ) 諸資料を活用し、国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、(2)で表現した仮説を踏まえて主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。
		(I) 次の①から⑥などを題材に、第二次世界大戦後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。 ① 占領政策と諸改革 ② 日本国憲法の成立 ③ 平和条約と独立の回復 ④ 戦後の経済復興とアジア諸国との関係 ⑤ 高度経済成長と社会・経済・情報の国際化 ⑥ グローバル化する世界と現代の日本	(I) 諸資料を活用し、第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、(2)で表現した仮説を発展させて主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。
			(オ) 日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化、(ア)から(I)までの学習で見だした画期などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の近現代を通した歴史の画期を見だし、根拠を示して表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
高等学校 日本史探究 D 近現代の地域・日本と世界	(4) 現代の日本の課題の探究	<ul style="list-style-type: none"> 資料から情報を収集し読み取った情報を基に、近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの近現代の歴史の変化を踏まえ、地域社会及び日本と世界の関係、現在の社会の構造などのつながりなど、各自が形成した観点から近現代の政治や社会と文化の特色を理解する。 現代の日本の課題を歴史的な経緯から理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目し、近現代の政治や社会と文化の特色についての仮説を踏まえた主題を設定して多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。 事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して、我が国の近現代を通した歴史の画期を見だし、根拠を示して表現することができる。 現代の日本の課題の形成に関わる歴史について考察、構想し表現することができる。
		内容項目例	
		(ア) 次の①から③までのいずれかを取り上げ、歴史的経緯を踏まえて、持続可能な社会の実現を視野に入れ、現代の日本の課題を理解する。 ① 社会や集団と個人 ② 世界の中の日本 ③ 伝統や文化の継承と創造	内容のA、B及びC並びにDの(1)から(3)までの学習を踏まえ、諸資料を活用し、歴史の画期、地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係、それ以前の時代からの継続や変化などに着目して、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定し、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察、構想して表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		歴史をマクロに捉える見方とミクロに捉える見方があることを理解し、時間と空間のスケールを活用して歴史を考察する方法を理解する。	時期や年代、空間的な広がり、展開や変化などの視点に着目して、地球環境と人類の歴史との関わりや身の回りの諸事象と世界史との関わりを考察し、表現することができる。
高等学校	世界史へのまなざし	内容項目例（1）諸地域の歴史的特質への問い	
		(ア) 次の①などを題材に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。 ① 人類の誕生と地球規模での拡散・移動 <今後、学習対象の具体例を挙げる必要がある>	(ア) 諸資料を活用して、諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、人類の歴史と地球環境との関わりに関する主題について、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現する。
		内容項目例（2）古代文明の歴史的特質	
		(ア) 次の①から③などの身の回りの事象を題材に、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解する。 ① 衣食住 ② 家族 ③ 教育、余暇 <今後、学習対象の具体度を挙げる必要がある>	(ア) 諸資料を活用して、諸事象の来歴や変化に着目して、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることに関する主題について、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	
		統合的な理解	総合的な発揮	
		資料から情報を収集し読み取った情報を基に、諸地域の歴史的特質への問いに照らして、世界各地に共通性と多様性をもつ諸地域が形成されたことについて理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などに着目し、政治、経済、社会、文化の特色などから、文明や諸地域の共通性や多様性について多面的・多角的に考察し、諸地域に形成された歴史的な特質を表現することができる。	
		内容項目例（1） 諸地域の歴史的特質への問い		
高等学校	世界史探究	B 諸地域の歴史的特質の形成	<p>(ア) 次の①から⑤などに関する資料を選択して活用し、資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 生業 ② 身分・階級 ③ 王権 ④ 宗教 ⑤ 文化・思想 	<p>(ア) ①から⑤などに関する資料を活用して、文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。</p>
			内容項目例（2） 古代文明の歴史的特質	
		<p>(ア) 次の①から③などを題材に、古代文明の歴史的特質を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① オリエント文明 ② インダス文明 ③ 中華文明 	<p>(ア) 諸資料を活用して、古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、(1)で考察した観点を踏まえた問いを踏まえて、古代文明の歴史的特質に関する主題について、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		資料から情報を収集し読み取った情報を基に、諸地域の歴史的特質への問いに照らして、世界各地に共通性と多様性をもつ諸地域が形成されたことについて理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などに着目し、政治、経済、社会、文化の特色などから、文明や諸地域の共通性や多様性について多面的・多角的に考察し、諸地域に形成された歴史的な特質を表現することができる。
		内容項目例	
B 諸地域の歴史的特質の形成編 世界史探究 高等学校	(3) 諸地域の歴史的特質	(ア) 次の①及び②などを題材に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解する。 ① 秦・漢と遊牧国家 ② 唐と近隣諸国の動向	(ア) 諸資料を活用して、東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、(1)で考察した観点を踏まえた問いを踏まえて、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質に関する主題について、唐の統治体制と社会や文化の特色、唐と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。
		(イ) 次の①及び②などを題材に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解する。 ① 仏教の成立とヒンドゥー教 ② 南アジアと東南アジアの諸国家	(イ) 諸資料を活用して、南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、(1)で考察した観点を踏まえた問いを踏まえて、南アジアと東南アジアの歴史的特質に関する主題について、南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。
		(ウ) 次の①及び②などを題材に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。 ① 西アジアと地中海周辺の諸国家 ② キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成	(ウ) 諸資料を活用して、西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、(1)で考察した観点を踏まえた問いを踏まえて、西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関わる主題について、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		資料から情報を収集し読み取った情報を基に、諸地域の交流・再編への問いに照らして、諸地域の交流の拡大や新たな地域世界の形成、既存の地域世界の関係の変化について構造的に理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などに着目し、政治、経済、社会、文化の特色、それ以前との比較などから、諸地域の交流の広がりや深まりについて多面的・多角的に考察し、諸地域の交流や再編を表現することができる。
		内容項目例 (1) 諸地域の交流・再編への問い	
高等学校 世界史探究 C 諸地域の交流・再編変容		(ア) 次の①から④などに関する資料を選択して活用し、資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ① 交易の拡大 ② 都市の発達 ③ 国家体制の変化 ④ 宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播	(ア) ①から④などに関する資料を活用して、諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現する。
	内容項目例 (2) 結び付くユーラシアと諸地域		
		(イ) 次の①から③などを題材に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がり理解する。 ① 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播 ② ヨーロッパ封建社会とその展開 ③ 宋の社会とモンゴル帝国の拡大 (イ) 次の①から③などを題材に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を理解する。 ① アジア海域での交易の興隆 ② 明と日本・朝鮮の動向 ③ スペインとポルトガルの活動	(ア) 諸資料を活用して、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、(1)で考察した観点を踏まえた問いを踏まえて、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する主題について、諸地域へのイスラームの拡大の要因、ヨーロッパの社会や文化の特色、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 (イ) 諸資料を活用して、諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、(1)で考察した観点を踏まえた問いを踏まえて、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する主題について、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		資料から情報を収集し読み取った情報を基に、諸地域の交流・再編への問いに照らして、諸地域の交流の拡大や新たな地域世界の形成、既存の地域世界の関係の変化について構造的に理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などに着目し、政治、経済、社会、文化の特色、それ以前との比較などから、諸地域の交流の広がりや深まりについて多面的・多角的に考察し、諸地域の交流や再編を表現することができる。
		内容項目例	
高等学校 世界史探究 C 諸地域の交流・再編	(3) アジア諸地域とヨーロッパの再編	(ア) 次の①及び②などを題材に、アジア諸地域の特質を理解する。 ① 西アジアや南アジアの諸帝国 ② 清と日本・朝鮮などの動向	(ア) 諸資料を活用して、アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、(1)で考察した観点を踏まえた問いを踏まえて、アジア諸地域の特質に関する主題について、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。
		(イ) 次の①から③などを題材に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を理解する。 ① 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争 ② 大西洋三角貿易の展開 ③ 科学革命と啓蒙思想	(イ) 諸資料を活用して、ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、(1)で考察した観点を踏まえた問いを踏まえて、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大に関する主題について、宗教改革の意義、大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		資料から情報を収集し読み取った情報を基に、諸地域の結合・変容への問いに照らして、近代以降に世界の一体化が顕著になったことについて構造的に理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などに着目し、政治、経済、社会、文化の特色、それ以前との比較などから、地球規模での世界の一体化と相互依存の強まりについて多面的・多角的に考察し、諸地域の結合や変容を表現することができる。
		内容項目例 (1) 諸地域の結合・変容への問い	
D 諸地域の結合・変容	世界史探究 高等学校	(ア) 次の①から⑥などに関する資料を選択して活用し、資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ①人々の国際的な移動 ②自由貿易の広がり ③マスメディアの発達 ④国際規範の変容 ⑤科学・技術の発達 ⑥文化・思想の展開	(ア) ①から⑥などに関する資料を活用して、諸地域の結合・変容に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現する。
		内容項目例 (2) 世界市場の形成と諸地域の結合	
		(ア) 次の①から③などを題材に、国民国家と近代民主主義社会の形成を理解する。 ①産業革命と環大西洋革命 ②自由主義とナショナリズム ③南北戦争の展開 (イ) 次の①から③などを題材に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を理解する。 ①国際的な分業体制と労働力の移動 ②イギリスを中心とした自由貿易体制 ③アジア諸国の植民地化と諸改革	(ア) 諸資料を活用して、大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、(1)で考察した観点を踏まえた問いを踏まえて、国民国家と近代民主主義社会の形成に関する主題について、産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 (イ) 諸資料を活用して、世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、(1)で考察した観点を踏まえた問いを踏まえて、世界市場の形成とアジア諸国の変容に関する主題について、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		資料から情報を収集し読み取った情報を基に、諸地域の結合・変容への問いに照らして、近代以降に世界の一体化が顕著になったことについて構造的に理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などに着目し、政治、経済、社会、文化の特色、それ以前との比較などから、地球規模での世界の一体化と相互依存の強まりについて多面的・多角的に考察し、諸地域の結合や変容を表現することができる。
		内容項目例 (3) 帝国主義とナショナリズムの高揚	
高等学校 世界史探究 D 諸地域の結合・変容	(ア) 次の①及び②などを題材に、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを理解する。 ① 第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争 ② アジア諸国の変革	(ア) 諸資料を活用して、列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、(1)で考察した観点を踏まえた問いを踏まえて、世界分割の進展とナショナリズムの高まりに関する主題について、世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 (イ) 諸資料を活用して、第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、(1)で考察した観点を踏まえた問いを踏まえて、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する主題について、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現する。	
	内容項目例 (4) 第二次世界大戦と諸地域の変容		
(ア) 次の①及び②などを題材に、国際関係の緊張と対立を理解する。 ① 世界恐慌とファシズムの動向 ② ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺	(ア) 諸資料を活用して、世界恐慌と国際協調体制の動揺に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、(1)で考察した観点を踏まえた問いを踏まえて、国際関係の緊張と対立に関する主題について、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。		
(イ) 次の①及び②などを題材に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を理解する。 ① 第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序 ② 冷戦とアジア諸国の独立の始まり	(イ) 諸資料を活用して、第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、(1)で考察した観点を踏まえた問いを踏まえて、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する主題について、第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。		

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		資料から情報を収集し読み取った情報を基に、多元的な相互依存関係を深める現代世界の特質について理解するとともに、自ら設定した主題を基に時間軸と空間軸のスケールを活用して地球世界の課題を歴史的な経緯から理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現代世界とのつながりなどに着目し、現代世界の特質に関わる具体的に設定した主題から歴史的に形成された地球世界の課題を多面的・多角的に考察したことを基に、よりよい社会の実現に向けた展望を構想し、表現することができる。
		内容項目例（1）国際機構の形成と平和への模索	
高等学校 世界史探究 E 地球世界の課題	(ア) 次の①から④などを題材に、紛争解決の取組と課題を理解する。 ① 集団安全保障と冷戦の展開 ② アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き ③ 平和共存と多極化の進展 ④ 冷戦の終結と地域紛争の頻発	(ア) 諸資料を活用して、国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、紛争解決の取組と課題に関する主題について、国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。	
	<th>内容項目例（2）経済のグローバル化と格差の是正</th>		内容項目例（2）経済のグローバル化と格差の是正
	(ア) 次の①から⑤などを題材に、格差是正の取組と課題を理解する。 ① 先進国の経済成長と南北問題 ② アメリカ合衆国の覇権の動揺 ③ 資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換 ④ アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題 ⑤ 経済のグローバル化	(ア) 諸資料を活用して、国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、格差是正の取組と課題に関する主題について、先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴、諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴、経済格差と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。	

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	
		統合的な理解	総合的な発揮	
		資料から情報を収集し読み取った情報を基に、多元的な相互依存関係を深める現代世界の特質について理解するとともに、自ら設定した主題を基に時間軸と空間軸のスケールを活用して地球世界の課題を歴史的な経緯から理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現代世界とのつながりなどに着目し、現代世界の特質に関わる具体的に設定した主題から歴史的に形成された地球世界の課題を多面的・多角的に考察したことを基に、よりよい社会の実現に向けた展望を構想し、表現することができる。	
		内容項目例（３）科学技術の高度化と知識基盤社会		
高等学校	世界史探究	E 地球世界の課題	<p>(ア) 次の①から④などを題材に、知識基盤社会の展開と課題を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術 ② 医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理 ③ 人工知能と労働の在り方の変容 ④ 情報通信技術の発達と知識の普及 	<p>(ア) 諸資料を活用して、科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、知識基盤社会の展開と課題に関する主題について、現代の科学技術や文化の歴史的な特色、第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p>
			内容項目例（４）地球世界の課題の探究	
		<p>(ア) 次の①から③までのいずれかあるいは関連させて取り上げ、歴史的経緯を踏まえて、持続可能な社会の実現を視野に入れ、地球世界の課題を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 紛争解決や共生 ② 経済格差の是正や経済発展 ③ 科学技術の発展や文化の変容 	<p>(ア) 内容のA、B、C及びD並びにEの(1)から(3)までの学習を踏まえ、諸資料を活用して、地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p>	

教科の目標、見方・考え方（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
高等学校	公民 <ul style="list-style-type: none"> 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解する。 諸資料から収集した情報について、その妥当性を吟味しながら調べまとめる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の諸課題について、事実を基に資料や概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 自らの考えを批判的に捉え直す力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を見だし、自らの学びを振り返りながら主体的かつ協働的に解決しようとする態度を養う。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
	公共 <ul style="list-style-type: none"> 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。 諸資料から収集した、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報について、その妥当性を吟味しながら調べまとめる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 自らの考えを批判的に捉え直す力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を見だし、自らの学びを振り返りながら主体的かつ協働的に解決しようとする態度を養う。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
	倫理 <ul style="list-style-type: none"> 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。 諸資料から収集した、人間としての在り方生き方に関わる情報について、その妥当性を吟味しながら調べまとめる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。 自らの考えを批判的に捉え直す力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養う。 多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。
	政治・経済 <ul style="list-style-type: none"> 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する。 諸資料から収集した、社会の在り方に関わる情報について、その妥当性を吟味しながら調べまとめる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、考察するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。 自らの考えを批判的に捉え直す力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を見だし、自らの学びを振り返りながら主体的かつ協働的に解決しようとする態度を養う。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

見方・考え方

- 社会的事象やその言説を、倫理、政治、法、経済などに関わる概念や理論などに着目して捉え、人間としての在り方生き方についての自覚を深めることや、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること

資質・能力の全体構造(素案)

				知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
				統合的な理解	総合的な発揮
高等学校	公共	A 公共の扉	(1) 公共的な空間を作る私 たち	幸福，人間と社会の多様性と共通性などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに基づき，人間がよりよく生きるためには，個人として尊重されるとともに，自立的な主体として公共的な空間に参画する必要があることについて理解した上で，そのために自らの資質・能力を高め，人間として成長することが大切であることを理解する。	公共的な空間と人間との関わり，個人の尊厳と自主・自律，人間と社会の多様性と共通性などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに着目して，自らの問題として，社会に参画する自立した主体とは何かということについて考察し，表現する。
				内容項目例	
				公共的な空間と人間との関わり，個人の尊厳と自主・自律，人間と社会の多様性と共通性などに着目して，社会に参画する自立した主体とは何かを問い，現代社会に生きる人間としての在り方生き方を探求して， (ア)自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方 (イ)人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であること (ウ)自分自身が，自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが，自らのキャリア形成とともにによりよい社会の形成に結び付くこと	公共的な空間と人間との関わり，個人の尊厳と自主・自律，人間と社会の多様性と共通性などに着目して，社会に参画する自立した主体とは何かを問い，現代社会に生きる人間としての在り方生き方を探求して， • 社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現する。

※概念的な枠組みは一人一人異なっていることに留意する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
		幸福，正義，公正などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに基づき，主体的に社会に参画し，他者と協働する際に選択・判断を行う手掛かりとなる考え方について，人間としての在り方生き方に関連付けて理解する。	現代の倫理的課題について、幸福，正義，公正などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに着目して，選択・判断の手掛かりとなる考え方や思考実験などを活用して考察することで，課題の本質を的確に捉えた上で，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすための糸口などについて考察し，表現する。
		内容項目例	
高等学校	公共	A 公共の扉	(2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方
		<p>主体的に社会に参画し，他者と協働することに向けて，幸福，正義，公正などに着目して，</p> <p>(ア) 選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方など</p> <p>(イ) 現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，(ア)に示す考え方を活用することを通して，行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが，よりよく生きていく上で重要であること</p> <p>(ウ) 人間としての在り方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能</p>	<p>主体的に社会に参画し，他者と協働することに向けて，幸福，正義，公正などに着目して，</p> <ul style="list-style-type: none"> 倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し，表現する。

※概念的な枠組みは一人一人異なっていることに留意する。

資質・能力の全体構造(素案)

高等学校 公共 A 公共の扉	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
	統合的な理解	総合的な発揮
	幸福，正義，公正などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに基づき，個人の尊重と協働の利益の確保などを共に図ることが，公共的な空間を作る目的であることについて理解した上で，それと関連付けて公共的な空間における基本的原理を理解する。	幸福，正義，公正などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに着目して，人間が協働する理由，協働関係を妨げる要因について考察した上で，公共的な空間における基本原理が，協働の条件として，あるいは協働関係を妨げる要因を取り除く工夫として，どのような役割を果たすかということについて，具体的な事例を挙げ，考察し，表現する。
	内容項目例	
(3) 公共的な空間における基本的原理	自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体となることに向けて，幸福，正義，公正などに着目して， (ア)各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であること (イ)人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理・公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現する。	自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体となることに向けて，幸福，正義，公正などに着目して， ・公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現する。

※概念的な枠組みは一人一人異なっていることに留意する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	高等学校 公共	総合的な理解	総合的な発揮
		よりよい社会の形成に参画することに向けて、人間としての在り方生き方に関する理解を深めつつ、幸福、正義、公正などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに基づき、法、政治及び経済などに関わる仕組みの特徴及びそれらが現代の諸課題の解決にどのように役立つかを理解した上で、それらの仕組みの下で活動するために必要な知識を理解する。	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題について、幸福、正義、公正などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに着目し、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用しつつ、関係する者の利害を適切に考慮して、考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。
		内容項目例	
		自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して、 (ア)法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則(のっとり)、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくこと (イ)政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土(領海、領空を含む。)、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであること (ウ)職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む。)などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であること (エ)現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して、 ・(ア)から(ウ)までの事項について、法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
高等学校	公共	C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし，幸福，正義，公正などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに着目して，関係する者の利害を適切に考慮した上で，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述することを通して，私たちがよりよい社会を築いていくために考え続けていく新たな問いを見いだす。
			内容項目例
			持続可能な地域，国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う，公共の精神をもった自立した主体となることに向けて，幸福，正義，公正などに着目して，現代の諸課題を探究して， <ul style="list-style-type: none"> • 地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述する。

※概念的な枠組みは一人一人異なっていることに留意する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
高等学校 倫理 A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	(1) 人間としての在り方生き方の自覚	統合的な理解	総合的な発揮
		古今東西の先哲の考えに基づき、人間としての在り方生き方に関わる概念や理論について理解した上で、人間としての在り方生き方について思索を深めることが大切であることを理解する。	古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。
		内容項目例	
		人間の存在や価値に関わる基本的な課題について思索する活動を通して、 (ア)個性、感情、認知、発達などに着目して、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心の在り方 (イ)幸福、愛、徳などに着目して、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観及び人生における宗教や芸術のもつ意義 (ウ)善、正義、義務などに着目して、社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な倫理観 (エ)真理、存在などに着目して、世界と人間の在り方について思索するための手掛かりとなる様々な世界観 (オ)古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能	古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、 ・自己の生き方を見つめ直し、自らの体験や悩みを振り返り、他者、集団や社会、生命や自然などとの関わりにも着目して自己の課題を捉え、その課題を現代の倫理的課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。

※概念的な枠組みは一人一人異なっていることに留意する。

資質・能力の全体構造(素案)

高等学校 倫理	A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	(2) 国際社会に生きる日本人としての自覚	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
			統合的な理解	総合的な発揮
			古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方に基づき、日本人に見られる人間観，自然観，宗教観などの特質について自己との関わりにおいて理解した上で，国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索することが大切であることを理解する。	古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして，国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し，表現する。
			内容項目例	
			日本人としての在り方生き方について思索する活動を通して，	古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして，
			(ア)古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して，我が国の風土や伝統，外来思想の受容などを基に，国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観，自然観，宗教観などの特質について，自己との関わりにおいて理解する	・国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し，表現する。
			(イ)古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に関する原典や原典の口語訳などの諸資料から，日本人としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能	

※概念的な枠組みは一人一人異なっていることに留意する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
高等学校 倫理 B 現代の諸課題と倫理	(1) 自然や科学技術に関わる諸課題と倫理	統合的な理解	総合的な発揮
		他者対話しながら、現代の諸課題を探究する活動を通して、自然や科学技術と人間との関わりについての倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述することを通して、私たちがよりよい社会を築いていくために探究し続けていく新たな問いを見いだす。	
		内容項目例 自然や科学技術との関わりにおいて、小・中学校社会科及び道徳、高等学校公民科の学習を生かし、他者対話しながら、現代の諸課題を探究する活動を通して、 <ul style="list-style-type: none"> 生命、自然、科学技術などと人間との関わりについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述する。 	
	(2) 社会と文化に関わる諸課題と倫理	統合的な理解	総合的な発揮
		様々な他者との協働、共生に向けて、他者対話しながら、現代の諸課題を探究する活動を通して、社会と文化に関わる倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述することを通して、私たちがよりよい社会を築いていくために探究し続けていく新たな問いを見いだす。	
		内容項目例 様々な他者との協働、共生に向けて、小・中学校社会科及び道徳、高等学校公民科の学習を生かし、他者対話しながら、現代の諸課題を探究する活動を通して、 <ul style="list-style-type: none"> 福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述する。 	

※概念的な枠組みは一人一人異なっていることに留意する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
A 現代日本における政治・経済の諸課題 高等学校 政治・経済	(1) 現代日本の政治・経済	個人の尊厳と基本的人権の尊重などの社会の在り方を捉える概念的な枠組みに基づき、現代日本の政治・経済、その諸課題に関わる概念や理論について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。	個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などの社会の在り方を捉える概念的な枠組みに着目して、政治・経済に関わる基本原理と関連付けて、 <ul style="list-style-type: none"> 現代日本の政治・経済の仕組みや制度とそれらの課題について、考察し、表現する。 政治・経済に関わる諸事象に見られる矛盾や対立などを見いだし、その解決に向けて、望ましい現代日本の政治・経済の仕組みや制度の在り方について、考察、構想し、表現する。
		内容項目例	
	(1) 現代日本の政治・経済	個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりして、 <ul style="list-style-type: none"> (ア)政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治 (イ)経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組み (ウ)現代日本の政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能 	個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりして、 <ul style="list-style-type: none"> 民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。

※概念的な枠組みは一人一人異なっていることに留意する。

資質・能力の全体構造(素案)

			知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
高等学校	政治・経済	A 現代日本における政治・経済の諸課題 (2) 現代日本における政治・経済の諸課題の探究	統合的な理解	総合的な発揮
				<p>合意形成や社会参画に向けて、他者と協働して持続可能な社会を形成するという観点から現代日本社会の課題を見だし、社会的な視点や方法等を総合的に用いて、関係する者の利害を適切に調整し、その課題の解決の在り方について、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、考察、構想し、自分の考えを広い視野から説明、論述することを通して、私たちがよりよい社会を築いていくために探究し続けていく新たな問いを見いだす。</p> <p>内容項目例</p> <p>社会的な視点や方法等を総合的に用いて、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究して、</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少社会における社会保障の充実・安定化，地域社会の自立と政府，多様な働き方・生き方を可能にする社会，産業構造の変化と起業，歳入・歳出両面での財政健全化，食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現，防災と安全・安心な社会の実現などについて，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明，論述する。

※概念的な枠組みは一人一人異なっていることに留意する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
高等学校 政治・経済 B 国際社会の諸課題	(1) 現代の国際政治・経済	個人の尊厳と基本的人権の尊重などの社会の在り方を捉える概念的な枠組みに基づき、現代の国際政治・経済、その諸課題に関わる概念や理論について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。	個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などの社会の在り方を捉える概念的な枠組みに着目して、政治・経済に関わる基本原理と関連付けて、 <ul style="list-style-type: none"> 国際政治・経済の仕組みや制度とそれらの課題について、考察し、表現する。 政治・経済に関わる諸事象に見られる課題などを見だし、その解決に向けて、望ましい国際政治・経済の仕組みや制度の在り方について、考察、構想し、表現する。
		内容項目例	
	(1) 現代の国際政治・経済	国際平和と人類の福祉に寄与しようとする自覚を深めることに向けて、個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりして、 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献 (イ) 貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割 (ウ) 現代の国際政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能 	国際平和と人類の福祉に寄与しようとする自覚を深めることに向けて、個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりして、 <ul style="list-style-type: none"> 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現する。 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現する。 国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。

※概念的な枠組みは一人一人異なっていることに留意する。

資質・能力の全体構造(素案)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
高等学校 政治・経済 B 国際社会の諸課題	(2) 国際社会の諸課題の探究	統合的な理解	総合的な発揮
			合意形成や社会参画に向けて、他者と協働して持続可能な社会を形成するという観点から国際社会の課題を見だし、社会的な視点や方法等を総合的に用いて、関係する者の利害を適切に調整し、その課題の解決の在り方について、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、考察、構想し、自分の考えを広い視野から説明、論述することを通して、私たちがよりよい社会を築いていくために探究し続けていく新たな問いを見いだす。
			内容項目例 社会的な視点や方法等を総合的に用いて、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題を探究して、 <ul style="list-style-type: none"> グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長市場、人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりなどについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述する。

※概念的な枠組みは一人一人異なっていることに留意する。